

MERCURY[®]

SmartCraft

取扱説明書



VesselView 7

目次

項目 1 - 一般事項	
ベッセルビュー7 概要	2
フロントコントロール	2
フロントコントロールの操作	3
リアパネル	3
ベッセルビュー7画面表示の位置及び説明	4
タッチするエリア	5
タップ/プレスのエリア	5
フリックのエリア	6
色の使い分け	8
メンテナンス	9
画面の清掃	9
スタックキー	9
ベッセルビュー7ソフトのアップデート	9
最新ソフトウェアの入手	9
目的地やルートへのバックアップ	10
ベッセルビュー7のアップグレード	10

項目 2 - システムのスタートアップ	
ベッセルビュー7 スタートアップ警告画面	13
初期のスタートアップ	13
スプラッシュスクリーン	13
装置の設定	13
設定のインポート	14
エンジンのセットアップ	14
画面のセットアップ	14
ユニークベッセルビューID	15
測定単位	15
画面のセットアップ	15
デバイスのセットアップ	16
測定単位のセットアップ	16
表示画面	17
スタートアップ	17
エンジン停止、キースイッチ ON	17
エンジンアイドルリング状態	17
エンジンフォルト	18
フォルトナビゲーション	18
エンジンメンテナンススケジュール	19
システムスキャンスキャンレポート	20
コミュニケーションエラー	20

項目 3 - 前後のデータ	
システムトレイの機能	22
関連データ表示の運用	22
スクロールバーの機能性	22
スクロールバーの活性化と運用	23
関連データエリア	24
最終的な関連データの選択	24
スクロールバーアイコン	25
表示データの拡大	26
オートサイクル	26

項目 4 - セットアップと設定	
セッティングメニューナビゲーション	28
セッティングメニューへのナビゲーション	28
システム	28
選択	29
ベッセル	30
スマートクラブ	30
イーजीリンク	32
アラーム	33
単位	33
ネットワーク	33
パーソナリティファイル	34

項目 5 - 画面の案内

エコノミーモード	36	クルーズコントロール	44
ECO モード	36	クルーズコントロール関連データエリア	44
ECO の最小値と最高値	36	固定データの変更	44
ECO 回転数及びトリム角	36	クルーズー関連データエリア	44
目標の色	36	クルーズナビゲーション	45
ECO ナビゲーション	37	トロールコントロールモード	45
ECO リフラッシュ	38	トロールコントロール関連データエリア	46
最小限	38	固定データの変更	46
ECO 目標の変更	39	トロールー関連データエリア	46
目標値の変更	39	トロールナビゲーション	46
スマートトウモード	39	オートパイロット画面	47
スマートトウ	39	オートパイロット画面概要	47
スマートトウターゲット	40	オートパイロット画面ナビゲーション	47
スマートトウ概観パネル	40	縮小したオートパイロット	48
スマートトウ関連データエリア	41	警告	48
ナビゲーション	41	警告のポップアップ	48
保存	42	燃料の重大な警報	49
カスタム起動を作成	43	水深アラーム	49
クルーズコントロールモード	44		

項目 6 - 取付け

取付けガイドライン	51	ベッセルビュー7 の取付け	51
取付け位置	51	ベッセルビュー7 の配線	52
電磁気の影響	51	ベッセルビュー7NMEA 2K の接続	52

項目 1 – 一般事項

目次

ベッセルビュー77 概要	2	色の使い分け	8
フロントコントロール	2	メンテナンス	9
フロントコントロールの操作	3	画面の清掃	9
リアパネル	3	スタックキー	9
ベッセルビュー77 画面表示の位置及び説明	4	ベッセルビュー77 ソフトのアップデート	9
タッチするエリア	5	最新ソフトウェアの入手	9
タップ／プレスのエリア	5	目的地やルートのバックアップ	10
フリックのエリア	6	ベッセルビュー7 のアップグレード	10

ベッセルビュー77 概要

重要:ベッセルビュー7 は、マーキュリーマリン船外機、マークルーザー、マーキュリーディーゼルに対応するマルチファンクションディスプレイ(MFD)です。この説明書の内容は、接続するパワーパッケージにより幾つかの機能が異なります。

ベッセルビュー77 は、幅広いボートの情報センターとして、4 基までのガソリン及びディーゼルエンジンの情報を表示する事ができます。基本的な運転データを常にモニターし、水温、水深、トリム位置、ボートスピード、ステアリング角度、燃料残量、オイル、水、汚水タンク等の詳細な情報を表示します。

ベッセルビュー7 は、他の NMEA 対応の機器とグローバルポジショニングシステム(GPS)を統合し、時間や速度、目的地までの燃料等の情報を提供します。

ベッセルビュー7 は、オートパイロット及びジョイスティック操作の情報も表示します。これら操縦機能の全ての機能は、マーキュリーマリンのオートパイロットコントロールエリアネットワーク(CAN)トラックパッドを介して制御されます。ベッセルビュー7 は、作動中又はスタンバイの状態においてボートが設定地点に到達した事をポップアップで表示し、旋回を促します。またエンジン及びドライブが最高の性能を発揮できるように調整方法のテキストが表示されます。

ベッセルビュー7 には、ディーラー及び OEM がベッセルパーソナリティーをインポートできるようにマイクロ SD カード用スロットがあります。SD カードは、オーナーが操作システムのアップグレードを行う際にも使用できます。

1 個以上のベッセルビュー7 を複数エンジンで使用している場合、及び複数のヘルムがある場合もそれらの設定をダウンロードする事ができます。

フロントコントロール



- | | |
|------------------|-----------------|
| ①—タッチスクリーン | ⑥—Goto、ページボタン |
| ②—マーク、メニューボタン | ⑦—ズーム、マンオーバーボード |
| ③—スタンバイ、オートボタン | ⑧—電源、照度 |
| ④—Exit ボタン | ⑨—カードリーダーカバー |
| ⑤—ロータリーノブ(押すと決定) | |

フロントコントロール操作

タッチスクリーン: ベッセルビュー7 の画面は、軽く叩いたり押さえて上下左右に移動させたりして操作する箇所があります。

マーク・メニュー: マーク・メニューには、画面のモードによって二つの機能があります。海図の画面上では、ボタンを押すことによって設定場所にアクセスできる等の機能があります。スマートクラフトの情報画面上では、スクロールバーを開く事ができます。

スタンバイ・オート: Navico システムを操作、中断する事ができます。

Exit: メニューを閉じ、画面からカーソルを削除します。

ロータリーノブ: メニューの選択及びチャートの拡大、選択、決定等に使用します。

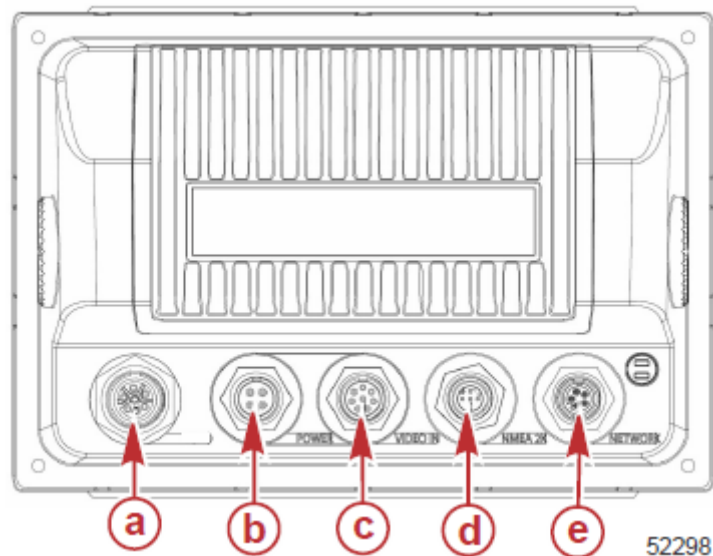
Goto・ページ: 短く押すと、ホームパネルのページを表示し、ホームページのメニューを切替えるには、複数回押します。長押しすると、Goto メニューのオプションが表示されます。

イン アウト・MOB: 多彩な NMEA 基本コンポーネントのズームボタン。インとアウトを同時に押すと、ボートの位置及びマンオーバーボード(MOB)のアイコンが記録されます。

電源・スタンバイ・照度: 押すとスタンバイモード、バックライトの変更、ナイトモードの切り替えが行えます。

カードリーダー: ベッセルビュー7 ソフトウェアのアップグレード、ナビゲーションチャートのアップロード、目的位置の設定、保存が行えます。

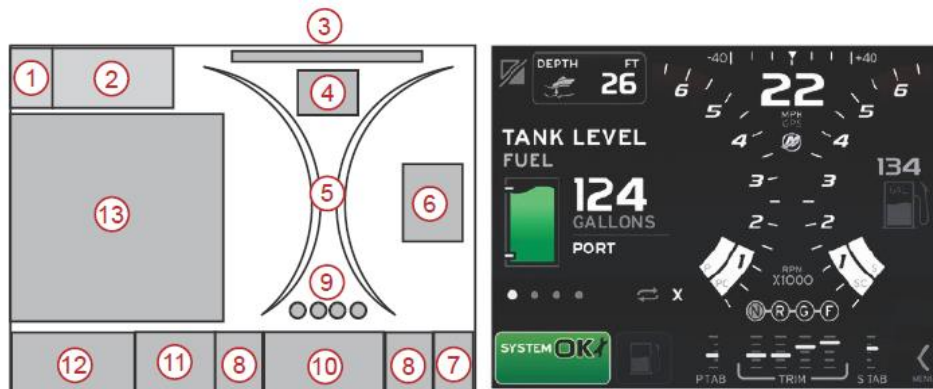
リアパネル



記号	機能	詳細
①	スマートクラフト	スマートクラフト SC1000 ゲージの接続
②	電源	電源の入力及び外部アラーム
③	ビデオ入力	2つの複合ビデオ入力
④	SIMMNET/NMEA2000	NMEA2000 ネットワークの接続
⑤	ネットワーク	イーサネットワークポート

ベッセルビュー7 画面表示の位置及び説明

ベッセルビュー7にはエンジンの情報及びアクティブモードを表示する複数のボックスがあります。



1. アプリケーションの切替え: 画面のこの領域にタッチすると、マーキュリーの画面と Navico の画面が切り替わります。
2. 電圧・水深: このデータボックスは、ユーザーによって設定可能です。セッティングメニューに全ての設定可能なリストが用意されています。
 - ・ スマートクラフト水深計が装備されていない場合は、電圧のみが表示されます。
 - ・ スマートクラフト水深計が装備されている場合は、水深が表示されます。
3. 舵角: 装備されている場合、45° 又は 60° の上限を選択できます。センサーが取り付けられ、スマートクラフトに接続されている場合、舵角が利用できます。舵角は、初期設定では OFF になっていますが、設定メニューで ON にする事ができます。
4. スピード: ボートの速度を表示します。センサーが装備されていない場合は、ダッシュを表示します。センサー(パドル、ピトー、GPS)の種類、速度、単位が表示されます。初期設定は MPH です。2つの整数よりも大きな速度値が小さなフォントで表示されます。
5. 回転数: エンジン回転数を表示します。2基掛け、3基掛け、4基掛けと表示するバーが増えます。
6. 燃料: このデータボックスは、燃料タンク容量を表示します。
 - ・ 燃料タンク容量のみを表示します。燃料の残量は関連データエリアに表示されます。
7. スクロールバーアイコン: スクロールバーを表示させるためには、このエリアをタッチします。関連データエリアに異なるマーキュリーの機能画面を表示させることができます。
8. タブ: このデータボックスは、ユーザーが設定できます。セッティングメニューに選択可能なリストが用意されています。
 - ・ もし装備されていれば、左舷のタブはトリムデータの左側に、右舷のタブはトリムデータの右側に表示されます。
9. ギアポジション: DTS モデルでは、全てのエンジンのギアポジションが表示されます。ギアの位置は、F=前進、N=ニュートラル、R=後進となります。DTS 以外の製品では、N=ニュートラル、G=ギアが入っているとなります。
10. トリム: このデータボックスは、ユーザーが設定できます。4基のエンジンまでトリムの表示ができます。関連情報エリアにポップアップ表示も可能です。セッティングメニューからポップアップを OFF にできます。
11. 関連データエリアアイコン: 画面の関連データエリアに表示されているデータを表すアイコンが表示されます。現在表示される関連情報が存在しない場合は、以前の関連情報アイコンが表示されます。スクロールバーを開くには、ページボタンを押してください。ユーザーがスクロールバーのアイコンを選択する事ができ、関連情報のデータは、その後表示されます。

12. システムトレイ： 以前のアクティブモード及び警告が表示されます。

13. 関連データエリア： 全ての関連情報、例えばイニシャルスタートアップスキャンの進行状況、管理メッセージ、メンテナンススケジュール、警告等です。

タッチするエリア

ベッセルビュー7 は、画面上にタッチするエリアを設定しています。オペレーターが設定されたエリアをタッチジェスチャーで特定のアイテムを開いたり操作したりすることが可能になります。タッチジェスチャーには、タップ(叩く)/プレス(押す)及びフリック(素早く動かす)の2種類があります。

タップ(叩く)/プレス(押す)のエリア

タップ/プレスのエリアは、関連情報及び不変のデータ両方で使用されています。これらのエリアは、最大限の使い勝手の良さを提供します。



4 基掛けの例

エリア	詳細
①	アプリケーションの切替え 重要： ベッセルビュー7に関連する他のアプリケーションにはアクセスできない場合があります。ポートには、NMEA2000 により接続された特定の Navico デバイスが必要です。
②	データボックスの情報。
③	スピードの情報。
④	燃料の情報。
⑤	スクロールバーの表示、非表示。
⑥	データボックスの情報。
⑦	データボックスの情報。
⑧	アクティブメニュー。
⑨	バリエブルシステムトレイの情報。
⑩	関連データエリアの様々なタンクの情報。
⑪	関連データエリアの様々なタンクの情報。



1 基掛けの例

エリア	詳細
①	アプリケーションの切替え 重要: ベッセルビュー7に関連する他のアプリケーションにはアクセスできない場合があります。ボートには、NMEA2000 により接続された特定の Navico デバイスが必要です。
②	データボックスの情報。
③	燃料の情報。
④	スピードの情報。
⑤	スクロールバーの表示、非表示。
⑥	データボックスの情報。
⑦	データボックスの情報。
⑧	アクティブメニュー。
⑨	バリアブルシステムトレイの情報。
⑩	関連データエリアの様々なタンクの情報。
⑪	関連データエリアの様々なタンクの情報。

フリックのエリア

フリックのエリアは、関連情報エリア及びスクロールメニューバーの選択に使用されます。フリックジェスチャーには、縦と横の2種類があります。

- ・ 横のフリックは、ページを進めるために使用します。
 - a. ページは横フリックの方向に進みます。
 - b. 最後のページに到達すると、左への横フリックは最初のページに進みます。
 - c. フリックアクションでは、オートサイクル及び Exit は選択できません。
- ・ 縦のフリックは、ユーザーが特定な画面に関連するデータをより詳しく見ることができます。
 - a. フリックアップは、追加データをより詳しく見ることができます。
 - b. フリックダウンは、概要の状態に戻る及び Exit することができます。
 - c. もしより詳細な情報が無い場合は、フリックの操作はできません。
- ・ スクロールバーのエリアは、メニュー選択を行うフリックアクションをスピードベースで区別します。
 - a. 遅いフリック = 遅く進む。
 - b. 早いフリック = 早く進む。

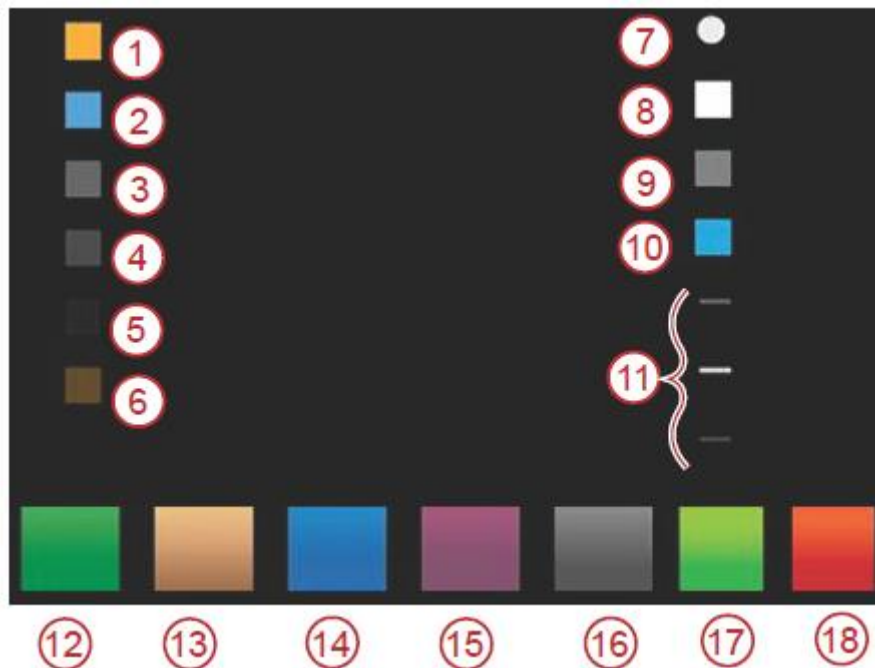


52306

エリア	詳細
①	関連情報の縦、横移動のエリア
②	関連情報の、横移動のエリア

色の使い分け

ベッセルビュー7 は、システムが正常に作動している場合、特定の操作に注意が必要な場合、要因がアクティブな場合、要因がコンピューターでコントロールされている場合等、様々なエリアの情報の変化を素早く認識できるように色の使い分けを行っています。



エリア	詳細
①	コンピューターによってコントロールされている又は、警告、注意
②	お知らせ
③	関連パネルヘッダーテキスト(作動していない)
④	関連パネルサブヘッダーテキスト(作動していない)
⑤	オートパイロット(作動していない)
⑥	コンピューターによってコントロールされている機能(作動していない)
⑦	ナビゲーションフッタードットハイライト
⑧	ナビゲーションフッターエレメントハイライト
⑨	ナビゲーションフッターエレメント(作動していない)
⑩	ナビゲーションフッター(作動している)
⑪	タンクマーカ
⑫	燃料
⑬	オイル
⑭	水
⑮	汚物
⑯	汚水
⑰	良い(ノーマル)
⑱	悪い(警告)

メンテナンス

重要： サービスを行う際は、保護のために付属のサンカバーを取付けることをお勧めします。

画面の清掃

画面の清掃には、付属の布を使用してください。塩が結晶となって付着している場合は、乾いた布や雑巾等で拭くと傷が付く恐れがあります。きれいな布に水を十分に含ませ、塩分を取除きます。決して強く拭いてはなりません。水垢が取れない場合は、温かい水とイソプロピルアルコールを 50/50 で混ぜた物で拭きます。アセトンやシンナー、アンモニアベースの溶剤等は絶対に使用しないでください。強い溶剤や界面活性剤の使用は、アンチグレアコーティング、プラスチック、ゴムシールに重大なダメージを与える恐れがあります。

紫外線による劣化を防ぐために、使用しない場合はサンカバーを装着する事をお勧めします。

スタックキー

下の位置でスタックキーが無い事を確認します。スタックキーがある場合は、キーを小刻みに叩きます。

ベッセルビュー7 ソフトウェアのアップデート

以下の手順は、ベッセルビュー7 ソフトウェアのアップデート方法を説明しています。マイクロ SD カードにファイルを保存するためにインターネットに接続する必要があります。

最新ソフトウェアの入手

1. 最新のソフトウェアは、www.mercurymarine.com のオンライン上に用意されています。ベッセルビュー7 のバージョンを確認するために、ベッセルビュー7 を起動する必要があります。システムの起動時に画面右下にバージョンが表示されます。
2. マーキュリーマリンウェブサイトにアクセスした後、サービス&サポートを選択し、ベッセルビュー7 を選択し、ダウンロードアップグレードをクリックします。
3. コンピューターのセキュリティ設定により異なりますが、警告が出た場合は承認して進みます。
4. ホルダーを作成してファイルをホルダーに保存します。
5. 保存するか開くかを選択する場合は、保存するを選択します。

注意： ファイルは圧縮された zip ファイルで、70-100MB の容量があります。インターネットの環境によっては、ダウンロードに時間が掛る場合があります。例として高速通信において、1~2分必要となります。

重要： zip ファイルは圧縮されたフォーマットです。解凍するためには Winzip の無料ソフトをダウンロードします。<http://www.winzip.com/index.htm> にアクセスし、ダウンロードします。

重要： ブラウザーの中には、ファイルエクステンションを変更する物があります。ファイル名及びエクステンションは変更しないでください。ファイル名は次の例のようになります。VesselView#-y.yzz.zz-standard-3.upd. 左の#は、ベッセルビュー7 のモデルを示します。メインバージョンの番号は、y,y, 及び構成番号は、zz,zz. によって示されます。

6. ファイルが保存された後、512MB 以上の容量の何も入っていないマイクロ SD カードにファイルをコピーします。

目的地やルートのバックアップ

通常目的地やルートは、影響を受けませんが、ソフトウェアのアップグレードを行う前に、目的地やルートを保存する事をお勧めします。バックアップの手順は、マイクロ SD カードに目的地やルートをコピーします。アップグレードファイルを保存したカードにコピーする事ができますが、データ量に応じた容量のカードが必要となります。

1. キースイッチを ON にし、ベッセルビュー7 の電源を入れます。
2. マイクロ SD カードをカードリーダーポートに確実に挿入します。
3. ロータリーノブの下にあるページボタンを押します。
4. ツールを選択し、ファイルを選択します。
5. 目的地、ルート、トラックを選択します。



6. 希望のファイルフォーマットを選択し、エクスポートを押します。
7. メモリーカードを保存先に指定し、OK を選択します。



8. バックアップファイル名を、キーパッドを使用して入力しエンターを押します。

ベッセルビュー7 のアップグレード

アップグレード中及び前に注意する事。

- ・ 目的地、ルートのパックアップを取る。
 - ・ 複数のベッセルビュー7 が装備されている場合は、個々にアップグレードを行う必要がある。
 - ・ アップグレードの途中で電源を切らない。
 - ・ アップグレードの途中でマイクロ SD カードを取外さない。
1. キースイッチを OFF にし、ベッセルビュー7 の電源を入れない事。
注意: 取付け状態によっては、キースイッチの電源と関係なく独立した電源がベッセルビュー7 に供給されている場合があります。
重要: ソフトウェアのアップグレードを行う少なくとも 5 分前に電源を切っておいてください。
 2. マイクロ SD カードをカードリーダーポートに確実に挿入します。
 3. キースイッチを ON にし、ベッセルビュー7 の電源を ON にします。
 4. システムが起動すると、アップグレードを行うかキャンセルするかの表示が現れます。
 5. ロータリーノブを使用し、アップグレードファイルに合わせ、ノブを押して決定します。

```
Select update to run

0: Cancel (Do not run updater)

*1: "VesselView7-1.0-43.253-23283-
```

6. アップグレード中にマイクロ SD カードを取外したり、キースイッチ及びベッセルビュー7 を OFF にしないでください。アップグレードが完了するには、数分掛ります。

```
Installing update. Please wait...
Do not turn off during update, as
this may damage your device.
```

7. アップグレードが完了すると、マイクロ SD カードを取外す事ができます。システムは、自動的に再起動します。

```
Upgrade completed.
Remove media to reboot.
```

8. アップグレードされたソフトウェアが最新のバージョンであるか確認します。スクロールバーを使用し、システムから About を開きます。
現在のソフトウェアのバージョンが表示されます。

項目 2 - システムのスタートアップ

目次

ベッセルビュー7 スタートアップ警告画面	13	測定単位のセットアップ	16
初期のスタートアップ	13	表示画面	17
スプラッシュスクリーン	13	スタートアップ	17
装置の設定	13	エンジン停止、キースイッチ ON	17
設定のインポート	14	エンジンアイドリング状態	17
エンジンのセットアップ	14	エンジンフォルト	18
画面のセットアップ	14	フォルトナビゲーション	18
ユニークベッセルビューID	15	エンジンメンテナンススケジュール	19
測定単位	15	システムスキャンースキャンレポート	20
画面のセットアップ	15	コミュニケーションエラー	20
デバイスのセットアップ	16		

ベッセルビュー7 スタートアップ警告画面

ベッセルビュー7 を起動すると、警告画面がポップアップし、オペレーターにナビゲーションを信用しない事及び操作に関する責任とリスクを負うことを説明します。

初期のスタートアップ

ベッセルビュー7 は、ベッセルパーソナリティーをプログラムしなければなりません。ベッセルパーソナリティーは、マーキュリーマリン G3、マイクロ SD カード、オンボードメニューシステムの 3 種類の方法によって作成できます。ベッセルパーソナリティーは、エンジンの数、ヘルムの数、タンクの種類及び数、装備されているセンサーのタイプを含みますが、これらに限定される物ではありません。

- ・ もしベッセルパーソナリティーがシングルディスプレイに G3 又はマイクロ SD カードでロードされた場合は、セットアップやインストールダイアログの必要はありません。
- ・ ベッセルビュー7 が複数装備されている場合は、自動的に認識します。複数のベッセルビュー7 が存在する事をポップアップで知らせます。ステーションの位置及びディスプレイの番号は画面上で設定しなければなりません。
- ・ ベッセルパーソナリティーがロードされない場合は、エンジン及びドライブのスマートクラフトのプロトコルを参照し、基本設定を行います。カスタマイズを行う場合は、メニューシステムを使用します。

スプラッシュスクリーン

キースイッチを ON にすると、マーキュリースタートアップスプラッシュ画面が現れます。4 基のエンジンまでエンジンの数と運転時間が表示されます。運転時間は、9999 時間まで表示されます。画面右下にソフトウェアのバージョンが表示されます。画面左下にパワーパッケージがエンジンアイコンによって表示されます。



マーキュリースプラッシュ画面

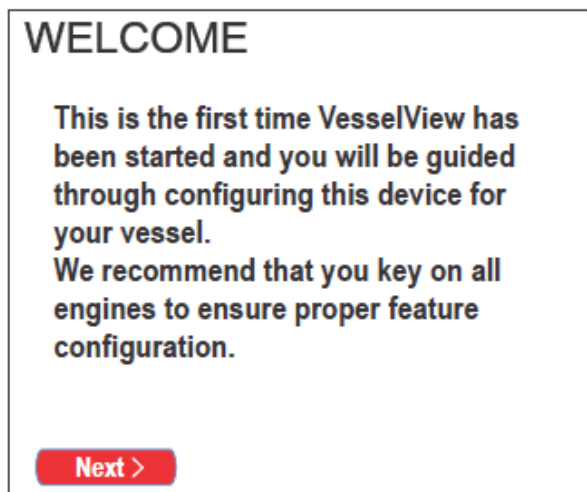
装置の設定

ベッセルビュー7 装置の設定は、ベッセルビュー7 の初期設定を案内します。ベッセルビュー7 装置の設定は、ベッセルビュー7 を最初に起動した際及びファクトリーリセットを行った際に現れます。

これらの設定及びそれ以上のものは、何時でもセッティングメニューから変更する事ができます。

1. 全てのエンジンキースイッチを ON にすると、ウエルカム画面が現れます。

重要: ベッセルビュー7 は、ボタンを押してからエンジンデータを取得するまでに時間が掛りますので、急いでボタンを押さないでください。ベッセルビュー7 を最初に起動した際及びファクトリーリセットを行った際は、再起動に数秒掛ります。



52633

2. ロータリーノブを押して続けます。

設定のインポート

重要: 設定のインポートは、認定された OEM 又は販売店によって行います。マイクロ SD カードに保存された設定をインポートに使用します。マイクロ SD カードには幾つかのデータファイルが含まれます。

1. カードポートにマイクロ SD カードを挿入します。
2. ロータリーノブを使用し、画面上のファイルをハイライトしノブを押してアップロードを開始します。
重要: インポートの操作中にマイクロ SD カードを抜いたり、電源を OFF にしたりしてはなりません。ユニットに損傷を与える原因になります。
3. インポートが完了後、マイクロ SD カードを取外します。
4. 次に、を選択してロータリーノブを押します。

注意: インポートした設定が搭載されているパワーパッケージに適合した場合、設定の手順は完了です。

エンジンのセットアップ

1. ロータリーノブを使用し、エンジンタイプをハイライトし、ノブを押して決定します。
2. エンジンタイプを選択し、ノブを押して決定します。

エンジンのタイプ		
なし	2 ストローク ガソリン船外機	4 ストローク ガソリン船外機
ガソリン スターンドライブ トロールなし	ガソリン インボード トロールなし	ガソリン ジェットドライブ
ガソリン スターンドライブ	ガソリン インボード	ガソリン VERADO
ディーゼル スターンドライブ トロールなし	ディーゼル インボード トロールなし。	ディーゼル インボード

3. ロータリーノブを使用し、インジケータランプが点滅している箇所でエンジンの数を選びます。
4. ロータリーノブを使用し、戻る又は次へ、を選択します。

画面のセットアップ

1. ロータリーノブを使用し、どのエンジンを画面に表示するかを変更又は選択します。
2. ロータリーノブを使用し、戻る又は次へ、を選択します。

ユニークベッセルビューID

ユニークベッセルビューID は、装備されているスマートクラフトの装備からベッセルビュー7 を識別します。各ベッセルビュー7 に ID を設定し、取付けられている場所、プライマリー(ヘルム ID 1)又はセカンダリーを特定する必要があります。

ロータリーノブを使用し、設定、変更を行います。

重要: 複数のベッセルビュー7 に同じ ID を設定しないでください。

注意: ベッセルビュー7 の取付けられている位置によって ID を設定します。(メインを 1 セカンドを 2)

測定単位

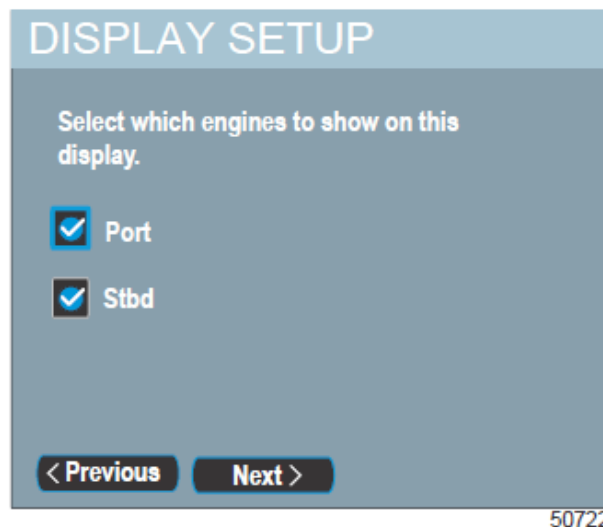
ロータリーノブを使用し、測定単位を US スタンドード又はメトリックから選択します。

注意: 特定のセンサーの測定単位を変更する事も可能です。セッティングメニューからセンサーの測定単位を変更します。

画面のセットアップ

画面のセットアップでは、各エンジンのデータをどのベッセルビュー7 に表示させるかを選択します。通常エンジンは、左から右へと表示され、これを左舷右舷と割当てます。幾つかのヘルムの設定が画面設定により異なる場合があります。複数のエンジンを搭載している場合に画面に 1 台のエンジンを表示させる場合、例えば全てのエンジンの燃料使用量を集計したとしても画面に設定されたエンジンの使用量のみを表示します。

1. ロータリーノブを使用し、エンジンの位置を選択します。ノブを押すと ON・OFF が切替ります。ベッセルビュー7 は、4 基のエンジンまで表示可能です。



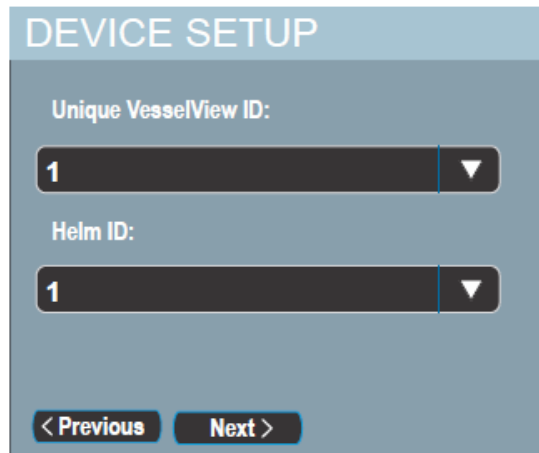
2. ロータリーノブを使用し、どのエンジンを表示させるかを選択します。ノブを押すと ON・OFF が切替ります。搭載されるエンジンの数により表示が変化しますが、下記の表示が現れます。
 - ・ なし
 - ・ 右舷
 - ・ 左舷
 - ・ 右舷中央(3 基又は 4 基掛け)
 - ・ 左舷中央(4 基掛け)
3. ロータリーノブを使用し、次のデバイスセットアップに進みます。

デバイスのセットアップ

ユニークベッセルビュー7ID は、装備されているスマートクラフトの装備からベッセルビュー7 を識別します。デバイスセットアップ画面では、メイン又はセカンドのヘルムにどのベッセルビュー7 が取付けられているかを区別させます。

重要： 複数のベッセルビュー7 に同じ ID を設定しないでください。

1. ポートにベッセルビュー7 が 1 個取付けられている場合は、5.に進みます。それ以外は、ロータリーノブを押し、ユニークベッセルビューID オプションに進みます。
注意： ベッセルビュー7 の取付けられている位置によって ID を設定します。(メインを 1 セカンドを 2)



DEVICE SETUP

Unique VesselView ID:

1

Helm ID:

1

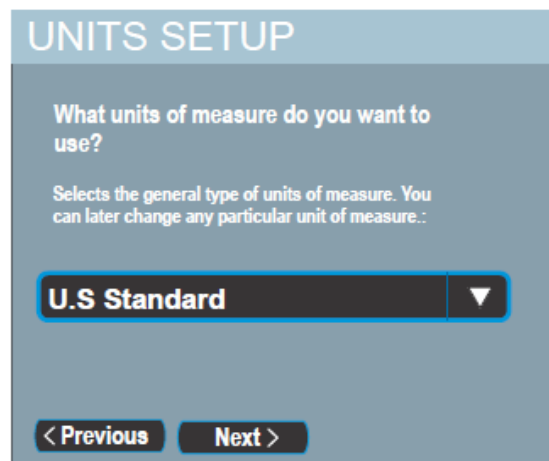
< Previous Next >

2. ユニークベッセルビューID オプションを開きます。番号をハイライトし決定します。他に取付けられているベッセルビュー7 の ID と異なる番号を選択します。
3. ヘルム ID オプションを選択し決定します。
注意： ヘルムが 1 箇所しかないポートの場合は 1 と設定します。
4. ヘルム ID の選択をハイライトし決定します。
5. 次へ、を選択し、ユニットセットアップに進みます。

測定単位のセットアップ

ユニットセットアップは、測定単位を US スタンダード又はメトリックから選択します。この設定が完了した後、セッティングメニューから設定を変更する事ができます。

1. 希望の測定単位を選択し決定します。
2. 設定が完了したら次へ、をハイライトし、進みます。



UNITS SETUP

What units of measure do you want to use?

Selects the general type of units of measure. You can later change any particular unit of measure.:

U.S Standard

< Previous Next >

50822

- 画面は、設定がほぼ完了し、セッティングメニューから何時でも変更が可能であることを知らせます。ロータリーノブを押し、設定を終了するか戻って設定を変更するかを選択します。
- ロータリーノブを押した後、ネットワーク画面がポップアップしデータソースがセットアップされていないため、セットアップを行うかを聞いてきます。OK 又はキャンセルを選択し、ロータリーノブを押します。
- OK を選択すると画面がポップアップし、システムはデータを選択します。全ての NMEA2K 及び CAN ネットワークの製品は、電源が ON の状態でなければなりません。
- 再生バーは、自動選択経過時間を表示します。

表示画面

スタートアップ

スタートアップのsplash画面以降の一連の流れで、メイン画面がロードされ、全てのデータ及びグラフィックが機能するようになります。エンジン停止又はエンジン運転状態の2種類があります。下記の表及び情報は、データ領域がどのように関係し変化するかを表しています。

エンジンの状態	関連データエリア
エンジン停止、キースイッチ ON	グッドスチュワードシップメッセージが表示されます。
エンジンクランキング	プロペラの表示が現れ、システムを調べています。
エンジンアイドリング状態	プロペラの色が緑色に変わります。
シフトが入り運転状態	レベル1スマート関連情報が表示されます。

エンジン停止、キースイッチ ON

エンジン停止状態でキースイッチを ON にすると、マーキュリーグッドスチュワードシップメッセージが画面に表示されます。全ての機能は準備されますが、エンジンデータは表示されません。

- メッセージは、任意に選択できます。例として:救命胴衣は用意しましたか、マーキュリーはお客様の安全な航海を願っています。
- メッセージは、エンジンモデル及び任意の設定により異なります。

エンジンアイドリング状態

エンジン運転状態では、画面の関連データエリアにあるプロペラの色が緑色に変わると、システムの点検が完了した事を示します。

- 画面の関連データエリアに表示されるプロペラが回転している間は、システムを点検している状態です。



①-動くプロペラの図 ②-進捗バー

- ・ シフトを入れると、システムの点検は終了し、プロペラの色が緑色に変わります。レベル 1 スマート関連情報が表示されます。
- ・ 点検が完了すると、様々な関連ポップアップが現れます。エンジンフォルト、メンテナンスまでの残り時間、コミュニケーションエラー、システム OK 点検レポート



点検の完了

エンジンフォルト

システムの点検中にフォルトが見つかった場合、関連データエリアにカラーのフォルトが表示されます。フォルトのタイプによって、フォルト表示の色が異なります。左下にあるシステムトレイは、表示されるフォルトに連動して変化します。

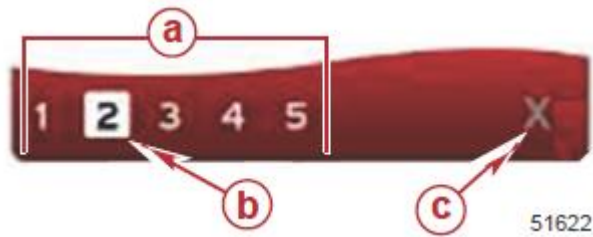


- (a)ーフォルトタイトル及びアイコン
- (b)ーショートテキスト又は受け継いだテキスト
- (c)ーエンジンフォルトの場所
- (d)ーアクションテキスト
- (e)ーフォルトの数

フォルトナビゲーション

フォルトが発生すると、フォルト関連トレイにその数が番号で表示されます。

1. 選択ボックスの最初のフォルトが白枠に黒文字で表示されます。
2. 選択したフォルトは、番号と+記号が交互に表示され、さらにデータの表示があることを示します。
3. +記号がある場合は、フォルトと関連したデータを見ることができます。
4. 追加のデータが複数のページある場合、フォルトトレイに 1 個以上の枠が示されます。選択したページが白色に変わります。この領域は、長いフォルトテキストの説明になります。



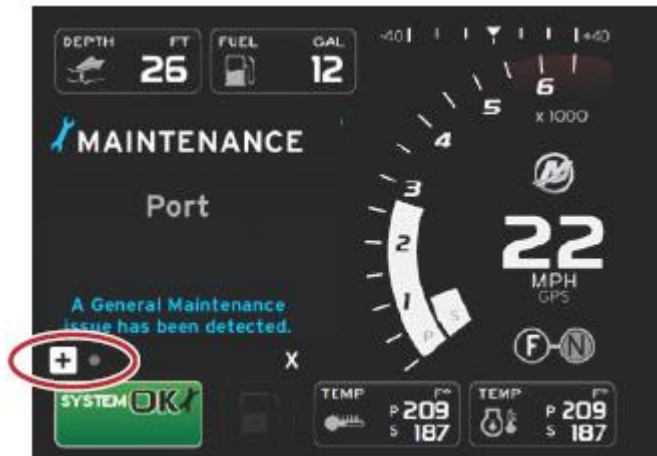
- ①—フォルトトレイの数 ③—フォルトトレイ終了アイコン
 ②—選択されたフォルト

5. フォルトトレイを終了する場合は、×ボタンを使用します。

エンジンメンテナンススケジュール

もしシステムの点検中にメンテナンス残りを認めた場合、関連領域に記述的に表示されます。左下にあるシステムトレイは、表示されるフォルトに応じて変化します。常識的にエンジンを保護するためにエンジンオイルの点検等、日常点検は行う必要があります。

1. メンテナンススケジュールの残り時間が無くなった場合、メンテナンススケジュールを行う一般的なメンテナンスの表示が出ます。



2. +アイコンを開きテキストを広げます。メンテナンスを 100%にリセットするか、画面を終了します。
 注意: システムからフォルトがクリアされるまで、システムトレイにレンチマークが表示されます。



3. メンテナンスの時間をリセットすると、システムトレイのレンチマークは消えます。



システムスキャンレポート

システムのスキャンが完了しメンテナンスの残りやコミュニケーションエラー等のフォルトがない場合、関連データエリアにスキャンコンプリートのメッセージが出、グッドステewardシップメッセージが表示されます。スキャンレポートは、シフトが入れられるか、×ボタンを押すまで表示されます。

- ・ グッドステewardシップメッセージは、任意に選択できます。例として:救命胴衣は用意しましたか、マーキュリーはお客様の安全な航海を願っています。
- ・ メッセージは、エンジンモデル及び任意の設定により異なります。



スキャンコンプリート



グッドステewardシップメッセージ

コミュニケーションエラー

システムスキャンがコミュニケーションエラーを確認した場合、スキャンを停止し全てのデータ表示部は、ーラインの表示になります。システムトレイは、灰色となり×が赤色丸印で表示され、コミュニケーションエラーが表示されます。



項目 3 - 関連データ

目次

システムトレイの機能	22	最終的な関連データの選択	24
関連データ表示の運用	23	スクロールバーアイコン	25
スクロールバーの機能性	23	表示データの拡大	26
スクロールバーの活性化と運用	23	オートサイクル	26
関連データエリア	24		

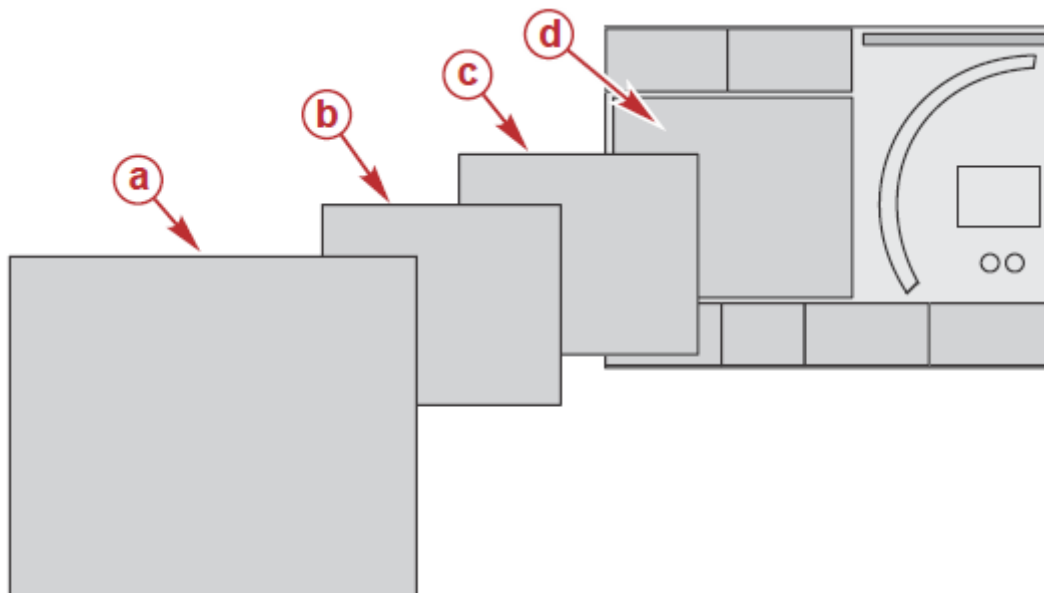
システムトレイの機能

システムトレイは、特定のエンジン情報及びアクティブモードと通信するために使用します。それは、ポップアップフル画面の警告が検出されない限り、常にメイン画面左下に表示されます。色、アイコン及びテキストは、システムの状態、警告、メンテナンスの表示とアクティブモードに応じて変化します。ベッセルパーソナリティー及び取付けられているパワーパッケージによって、システムトレイに用意されるアイコンは異なります。利用可能な全てのアイコンを次の表に示している訳ではありません。

システムトレイアイコンの例	
	キースイッチを ON にした状態のエンジンアイコン。
	キースイッチを ON にした状態でのコミュニケーションエラー。パワーパッケージと CAN ネットワークがコミュニケーションできない。
	CAN ネットワークに接続された全ての機器が正常範囲内であることを示している。
	フォルトがあることを示す警告アイコン。
	右舷エンジンの自己診断機能がフォルトを検出した際の警告。他の位置にあるエンジンに於いても類似。
	オートパイロット中間地点追跡。オレンジ色が中間地点の追跡が起動中でありコンピューター制御されていることを示します。もしオートパイロットの追跡が中断モードの場合、トレイの色は灰色に変わります。この色の変化は、全てのオートパイロット機能において同様です。

連データ表示の運用

関連データには、初期起動スキャン進行状況、グッドスチュワードシップメッセージ、メンテナンススケジュール及び警告が含まれます。特定の関連データは、あらかじめ定義されたレベルのイベント中に表示されます。レベルのイベントは、起動進行状況の一部であり、パワーパッケージ又は警告が発生した場合に変化します。



関連レベルイベント進行状況の定義	
①	レベル 4 は、警告のポップアップが発生した際の全画面表示。
②	レベル 3 は、パワーパッケージ又は船体の変化をポップアップで表示する標準画面。変更は含まれますが、トリム、ナビゲーション、ECO、燃料等に限定されません。
③	レベル 2 は、全ての関連パネルを表示する標準画面。
④	レベル 1 は、スタートアップシステムスキャンを含む全ての関連データを表示する標準画面。

スクロールバーの機能性

スクロールバーには、画面の関連データエリアにある表示されていないアイコンの項目へのアクセスを提供できます。アイコンアイテムは、機能するまで非表示になり、ユーザーが設定メニューで選択した時間が表示されます。関連データエリアにあるアイコンアイテムに 5 秒以上動きがない場合は、OFF になります。動きがある場合は、関連データエリアは、アイコン名とその機能に関するデータを表示するようになります。

スクロールバーの活性化と運用

1. 画面右下にあるスクロールバー矢印を押します。
2. ロータリーノブを使用し、表示したいアイコンを選択します。選択されたスクロールバーアイコンは、青色のボックスで表示されます。

注意：スクロールバーの左右に矢印のアイコンが表示されます。片方のアイコンのみ表示される場合、その矢印の方向にのみ移動できます。両方のアイコンが表示される場合は、どちらの方向にも移動する事ができます。



①—選択されたアイコン ②—スクロールバーの矢印

関連データエリア

スクロールバーの操作中にアイコンがハイライト表示され、選択されていない状態では、関連データエリアにはアイコン、アイコン名、及び機能の動作に関する説明を表示するよう変更されます。関連データエリアには、短時間だけ、この情報が表示されます。

最終的関連データ選択

アイコンが選択されていたら、ロータリーノブを押します。アイコンは、システムトレイの次に表示され、関連データエリアは、その選択に関連する全てのデータが表示されます。

スクロールバーアイコン



51996

アイコンの詳細	
Ⓐ	温度－エンジン及び外気温度を表示：オイル、冷却水、燃料、マニホールド内エア。表示される情報は、エンジンモデルにより異なります。
Ⓑ	圧力－エンジンの圧力を表示：冷却水、オイル、燃料、過給。表示される情報は、エンジンモデルにより異なります。
Ⓒ	電圧－全てのエンジンのバッテリー。
Ⓓ	タンク－ボートに搭載されるタンクのデータ：燃料、水、汚水、オイル容量（2 サイクルのみ）。
Ⓔ	トリップログ－記録されたトリップデータの表示：合計距離、合計時間、平均速度、平均燃料消費。トリップログのデータは、リセットする事ができます。
Ⓕ	発電機－NMEA2000 又は J1939 エリアネットワークから CAN 通信で発電機から送られるデータ：電流、電圧、周波数、運転時間、油圧、冷却水温度。
Ⓖ	スマートウ－スマートウプロファイル選択を有効にします。プロファイルは変更可能です。
Ⓕ	トルールコントロール－低速でのエンジンコントロールを有効にします。エンジン回転数の調整を使用可能。
Ⓖ	フューエルマネジメント－フューエルシステム使用量を表示：現在及び平均効率的使用量、時間当たり使用量、合計容量、使用量。
Ⓖ	オートパイロット－オートパイロットデータの表示。
Ⓖ	エコ－最も優れた燃費を得るためのトリム角度及びエンジン回転数の情報を操船者に表示。
Ⓖ	ナビゲーション－入力されたナビゲーションシステム関連するデータを表示：コンパス方位、緯度、経度、目的地までの時間及び距離、方位、コース。
Ⓜ	拡大－選択されたデータ画面をページ区切りの形式に。
Ⓝ	トリム及びタブ－ドライブ及びタブのトリム位置を表示。この機能を表示させるためには、センサーを取付けなければなりません。
Ⓞ	パフォーマンス－表示はパフォーマンスデータを拡張：ピークパフォーマンス（回転数/スピード）プロペラ回転当たりのインチ。
Ⓟ	エンジンデータ－補足のエンジン情報の表示：マニホールド温度、スロットルパーセント、エンジン負荷、マニホールド圧力、表示される情報は、エンジンにより異なります。
Ⓠ	クルーズコントロール－クルーズコントロールの起動。ユーザーがエンジン回転数又はスピードによってボートをコントロール。スピードのコントロールは、パドルホイールセンサー又は GPS を使用
Ⓡ	設定－データの表示、非表示、センサー誤差の修正、表示単位（メトリック/インチ）の変更、工場出荷の値に戻す。注意－工場出荷時の値に戻した場合、設定した内容は消去されます。

表示データの拡大

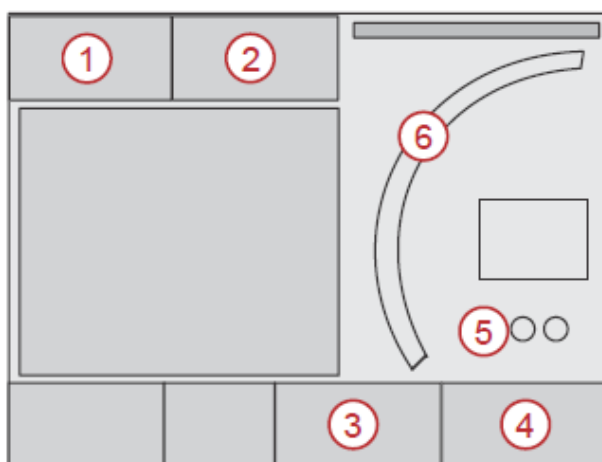
データボックスは、拡大アイコンをハイライトし、ロータリーノブを押します。



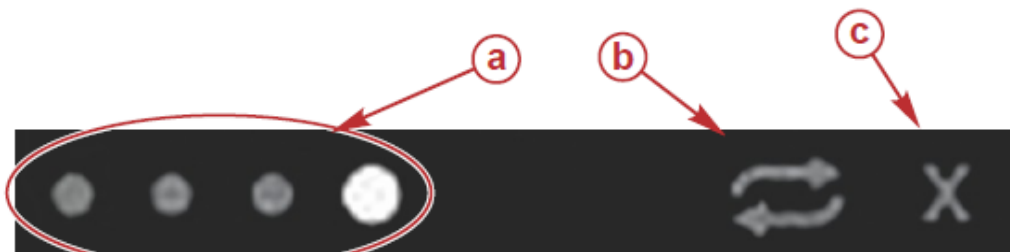
拡大アイコン

アイコンが動作すると、関連データエリアがデータボックスから拡大されたデータで満たされます。6 個のデータまでが拡大可能です。下記に示す図のように、ページ番号を付け時系列に 1 枚ずつ表示する事ができます。データボックス③及び④は、オプションのユーザーが選択したデータが表示されます。

注意: トリム及びタブの表示は初期の設定によって拡大表示することができません。もし拡大できる場合は、ポップアップ設定になっています。トリム及びタブのポップアップは、セッティングメニューで OFF にする事ができます。



各データボックスは、関連データエリアの左下隅に自身のページインジケータを持っています。各ページ又はオートサイクルアイコン又は終了アイコンを押します。オートサイクルアイコン又は終了アイコンがハイライト表示されたらロータリーノブを押します。



①-ページインジケータ ②-オートサイクルアイコン ③-終了アイコン

オートサイクル

- ・ オートサイクルが選択されたにも拘らず作動しない場合は、アイコンが白色で表示されます。
- ・ ロータリーノブを押し、オートサイクルを作動させます。アイコンは、青地に白色矢印で表示され、オートサイクルが無効になるまでこの状態となります。オートサイクルの基本設定は、各ページ 5 秒間の表示となり、セッティングメニューから変更する事ができます。
- ・ オートサイクルが作動中は、矢印は表示されません。ページがハイライトされたらロータリーノブを押します。オートサイクルは作動していますが表示されません。オートサイクルに戻るには、オートサイクルアイコンをハイライト表示させ、ロータリーノブを押します。
- ・ オートサイクルを停止させるためには、×をハイライト表示させロータリーノブを押します。

項目 4 - セットアップ及びキャリブレーション

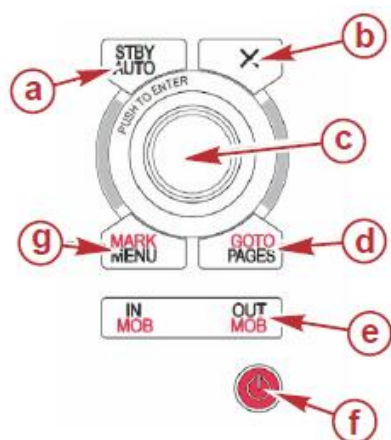
目次

セッティングメニューナビゲーション.....28	イージーリンク.....32
セッティングメニューへのナビゲーション.....28	アラーム.....33
システム.....28	単位.....33
選択.....29	ネットワーク.....33
ベッセル.....30	パーソナリティファイル.....34
スマートクラフト.....30	

セッティングメニューナビゲーション

セッティングメニューへのナビゲーション

1. スマートクラフト画面が表示されるまでページボタンを押し続けます。



- ①—スタンバイオートボタン
- ②—終了ボタン
- ③—ロータリーノブ
- ④—進むページボタン
- ⑤—ズーム、水中に人が居る
- ⑥—電源、照度
- ⑦—マーカーメニューボタン

2. 最後のアイコンがハイライト表示されるまでロータリーノブを回します。最後のアイコンがセッティングメニューです。
3. ロータリーノブを押します。

システム

システムメニューを使用すると、日付、時間の体裁、ブザー及びホーンの ON/OFF、様々な照明の範囲の変更、カスタマイズされたスプラッシュ画面のための図のインポートシミュレーションプログラムの ON (これは、一般的に販売店レベルで使用されます)、ソフトウェアのバージョンを識別する等の操作ができます。

大なり記号(>)は、追加メニューの選択肢を示します。

システム		
言語	希望の言語を選択	—
時間 >	日付、時間の体裁を変更 時間の自動調整は、GPS を接続した場合に機能します。	—
ブザー >	キー警告音 >	OFF、小、普通、大
	アラーム警告音	ON(チェックマーク)、 OFF(チェックマークなし)
バックライト >	レベル >	0-100%
	夜間モード	ON(チェックマーク)、 OFF(チェックマークなし)
	ネットワークアップデート	ON(チェックマーク)、 OFF(チェックマークなし)
	ローカルゲイン >	0-100%
イメージ >	SD カードの選択	—
シュミレート	ON(チェックマーク)、OFF(チェックマークなし)	—
規定値に戻す	全ての設定、エンジンリミット、アラームヒストリー	—
アバウト	ソフトウェアバージョンの表示	—

選択

選択メニューは、以下を可能にします。

1. 表示させるエンジンを選択します。ヘルム番号、装置番号
 2. もしヘルムで画面が見える場合に選択します。
 3. 外気温度の表示
 4. オートサイクル間隔の設定
 5. オートパイロット又はスカイフックポップアップ画面の表示、非表示
 6. データボックスの表示、非表示
 7. 警告ポップアップ画面の表示、非表示
 8. スクロールバー自動非表示遅延時間の調整及び表示するスクロールバーの選択
 9. スタートアップチェックリストの表示、非表示
 10. トリムタブ画面の表示、非表示
 11. クルーズ又はスマートトゥコントロールのタイプを選択
- 大なり記号(>)は、追加メニューの選択肢を示します。

選択		
エンジン >	どのエンジンを表示させるかによって、表示(チェックマーク)又は非表示(チェックマークなし)	—
ヘルム番号、装置番号 >	ベッセルビュー7 のヘルム位置を選択(複数のヘルムがある場合)。装置番号の選択(複数のベッセルビュー7 がある場合)	—
ヘルムで画面が見える >	ON(チェックマーク)、OFF(チェックマークなし)	—
外気温度センサー >	ON(チェックマーク)、OFF(チェックマークなし)	—
オートサイクル間隔 >	1、5、10 秒間隔	—
ポップアップ >	トリム	ON(チェックマーク)、OFF(チェックマークなし)
	トリムポップアップ時間	2、5、10 秒間
データボックス >	データボックス 1 のデータのタイプ >	ナビゲーション >、船体 >、エンジン >、環境 >
	オプションのデータボックス >	なし、1 個、両方
	データボックス 2 のデータのタイプ >	ナビゲーション >、船体 >、エンジン >、環境 >
スクロールバー >	自動非表示遅延	5、10、15 又は 30 秒間
	アイテムの可視性	ON(チェックマーク)、OFF(チェックマークなし): 温度、圧力、タンク、電圧、燃料、ECO、クルーズ、ナビゲーション、トリップログ、スマートトゥ、トリムコントロール、エンジン、発電機、性能、トリム、タブ、オートパイロット
スタートアップチェックリスト	ON(チェックマーク)、OFF(チェックマークなし)	—
タブの表示	ON(チェックマーク)、OFF(チェックマークなし)	—

選択		
トリムの表示	ON(チェックマーク)、OFF(チェックマークなし)	—
ステアリングの表示	ON(チェックマーク)、OFF(チェックマークなし)	—
カメラの取付け	ON(チェックマーク)、OFF(チェックマークなし)	—

ベッセル

ベッセルでは、エンジン、燃料タンクの数及び総燃料容量を設定できます。燃料容量は、給油後に設定する事も可能です。

大なり記号(>)は、追加メニューの選択肢を示します。

ベッセル		
セットアップ >	ベッセルセットアップ >	エンジンの数、燃料タンクの数
		総燃料容量
再給油 >	ベッセル再給油 >	追加された燃料の量を入力し、上限に設定

スマートクラフト

スマートクラフトセッティングメニューでは、以下を可能にします。

1. 船体に搭載されるエンジンの数
2. センサーデータのオフセット: 水深、水温、速度、ステアリング、トリム、タブ
3. タンク容量の設定
4. 様々な範囲の限界
5. 各エンジンをサポートするデータの ON/OFF
6. スマートクラフトネットワークの数量及び番号の設定

大なり記号(>)は、追加メニューの選択肢を示します。

スマートクラフト			
エンジンの数 >	1-4 を選択		—
水温 >	水温の情報源	なし、PCM0 ~ 3、AirMar0~3	—
	オフセット	キャリブレーション: オフセット、0、復元、保存	—
速度 >	GPS >	CAN-P 又は H	—
	ピトーセンサー >	PCM0~3	—
	ピトーセンサータイプ >	100 又は 200PSI	—
	ピトー乗数 >	キャリブレーション: 乗数、復元、保存	—
	パドルセンサー情報源 >	なし、PCM0~3	—
	パドルセンサー >	Legacy 又は Aimar	—
	パドル周波数 >	キャリブレーション: 乗数、復元、保存	—

スマートクラフト				
ステアリング >		舵角の情報源 >	なし、PCM0～3、TVM	—
		反転ステアリング	ON(チェックマーク)、OFF(チェックマークなし)どのエンジンがステアリングを表示するか	—
		オフセット >	キャリブレーション：乗数、復元、保存	—
タンク >	位置：左舷、左舷中央、右舷中央、右舷 >	タンク 1 又は 2	キャリブレーション	下限、1/4、1/2、3/4、上限
		タンク使用目的	なし、燃料、オイル、水、汚水	—
		容量	0 から 6 桁まで	—
トリム >	位置：左舷、左舷中央、右舷中央、右舷 >	トリムあり	ON(チェックマーク)、OFF(チェックマークなし)	—
		キャリブレーション >	トリム下限、トリム上限、トリム最上限、復元、保存	—
タブ >	タブの情報源	なし、PCM0～3、TVM	—	—
	左舷及び右舷のキャリブレーション	キャリブレーションの位置(2 又は 3)	下限、中央、上限、リセット、復元、保存	—
スマート状況 >	有効にする	ON(チェックマーク)、OFF(チェックマークなし)	—	—
	エンジン運転範囲	限界の設定	—	—
	低速範囲	0-99%で設定	—	—
	高速範囲	0-99%で設定	—	—
	レバーシフト範囲	0-99%で設定	—	—
	モードタイマー範囲	0-10 秒で設定	—	—
	モード安定範囲	0-10 秒で設定	—	—
	定常状態範囲	1 秒間あたりの回転数を設定	—	—
限界 >	回転数、燃料消費、水温、油温、油圧、水圧、電圧、吸気温度、過給圧、トランスミッション油圧、油温 >	限界の設定： 下限、上限、警告下限値、警告上限値、休止、各エンジンの保存	—	—

スマートクラフト				
サポートするデータ >	位置:左舷、左舷中央、右舷中央、右舷 >	現在のギア、過給圧、燃料圧、ギア圧、ギア温度、負荷率、マニホールド温度、MIL(警告灯)、油圧、油温、スロットル開度、水圧	ON(チェックマーク)、OFF(チェックマークなし)	—
進歩 >	スマートクラフトネットワーク番号 >	1 又は 2 船体に 1 個以上のスマートクラフトネットワーク	—	—
	ネットワーク番号 >	A 又は B ネットワークの識別に使用	—	—

イージーリンク

SC100 ゲージを使用する場合は、ベッセルビュー7 のイージーリンクを ON(チェックマーク)にしなければデータを受ける事ができません。

イージーリンク		
左舷、左舷中央、右舷中央、右舷 >	エンジン及びトランスミッション >	左舷又は右舷 ON(チェックマーク)、OFF(チェックマークなし)
	回転数の同調	ON(チェックマーク)、OFF(チェックマークなし)
	燃料タンク 1	ON(チェックマーク)、OFF(チェックマークなし)
	燃料タンク 2	ON(チェックマーク)、OFF(チェックマークなし)
	オイルタンク	ON(チェックマーク)、OFF(チェックマークなし)
	清水	ON(チェックマーク)、OFF(チェックマークなし)
	汚水タンク >	排水タンク 1、汚水タンク 1 ON(チェックマーク)、OFF(チェックマークなし)

アラーム

どのようなアラームの履歴もチェックする事が可能です。特定のアラームを ON 又は OFF にするか、全てのアラームを見る。

アラーム		
アラーム >	アラームの履歴	過去のアラームを表示
	アラームの設定 >	GPS が取付けられていない、浅瀬、水深が深い、水温の割合、錨、錨の深さ、低速、XTE、目的地範囲、到着、真の風向き、強風、弱風、燃料残量下限、燃料残量上限、電圧 >、失われたデータ >、船体 >、オートパイロット >、エンジン > 注意：これらの設定は、アラームを受けるために有効にしなければなりません。
	全てのヘルムアラームを表示	ON(チェックマーク)、OFF(チェックマークなし)

単位

様々なスマートクラフトネットワークのセンサーから送られる測定値の単位を選択する事ができます。ヤード・ポンド、メートル、海里、真方位、ガロンあたりのマイル、リッターあたりのキロメートル等。大なり記号(>)は、追加メニューの選択肢を示します。

単位		
単位 >	距離 >	海里、キロメートル、マイル
	短い距離 >	フィート、メートル、ヤード
	速度 >	ノット、時間あたりのキロメートル、時間あたりのマイル
	風速 >	ノット、時間あたりのキロメートル、時間あたりのマイル、秒あたりのメートル
	水深 >	メートル、フィート、フアゾム
	標高 >	メートル、フィート
	方位 >	磁石、真方位
	温度 >	摂氏、華氏
	容積 >	リットル、ガロン
	経済性 >	距離/容積、容積距離、ガロンあたりのマイル、マイルあたりのガロン、リッターあたりのキロメートル、キロメートルあたりのリッター
	圧力 >	Hg, mbar, psi, kPa
	大気圧 >	Hg, mbar, kPa

ネットワーク

1. オートセレクト、情報源及び磁気変動

- ・ オートセレクトは、インストールされたデータレポート(入力及び出力)の構成要素である CAN バス及び NMEA の中枢をスキャンします。これらの項目は、オートセレクトの為にそれらに供給される電源を持っている必要があります。
- ・ データの情報源選択に含まれて情報源は開きますが、GPS、ログ/タイマー、環境は、これらに制限されません。有効にすると、これらのデータ情報源は、包括的になります。
- ・ 磁気変動を手動で変更又は自動で更新することができます。手動での変動は、小数点以下 2 桁を含む 5 桁に + 又は - で変更できます。

2. デバイスリストと診断

- ・ デバイスリストが、認識されている全ての CAN バス及び NMEA 中枢レポートのコンポーネントを示しています。これは、CAN 及び NMEA 通信エラーを診断するのに役立ちます。
- ・ 診断は、CAN 及び NMEA 通信エラーやオーバーランのデータレポートを示しています。これは、CAN 及び NMEA 通信エラーの診断に精通した技術者の為に役立ちます。

3. グループ

- ・ ネットワークグループは、N2K ネットワーク上の情報源を使用する製品である。これらの製品は、ネットワーク上の他の全ての製品が使用する情報源又は、他のユニットから独自に情報源を使用することができます。
- ・ 情報源のカテゴリーが 10 あります。: コンパス、ナビゲーション、位置等は、情報源のカテゴリーの幾つかです。これら各カテゴリーの下に、表示がグループの一部として情報源からデータを受信する、又はグループから独立してデータを受信するように設定する事ができます。

4. ダンピング

- ・ ダンピングを使用すると、CAN 及び NMEA バックボーンに接続された各種センサーを更新する時間を 1 秒から 9 秒の範囲で遅れを設定することができます。

5. スピード

- ・ スピードの情報は、外部センサー又は GPS から選択できます。外部センサーがデフォルトに設定されています。
- ・ 水を介してのスピード数値が一つのスピードセンサーから他のセンサーへの移行となります。最も一般的な移行が、パドルセンサーからピトーセンサーです。GPS への移行はありません。
- ・ パドルスピードの換算は、パドルホイールセンサーの周波数を較正することによって、微調整が可能です。

6. ECO モード

- ・ エコモードでは、エコプログラム内にあるターゲットウィンドウを変更することができます。

7. 燃料満載の較正

- ・ 燃料が満載の状態、素早く燃料タンク満載の較正ができます。

8. クルーズ/スマートトウ

- ・ マニュアルで、オートやエンジン回転数や速度を元にしたクルーズコントロール又はスマートトウを選択することができます。

パーソナリティーファイル

パーソナリティーメニューオプションは、認定されたディーラー又は OEM により使用されます。

項目 5 - スクリーンナビゲーション

目次

エコノミーモード	36	クルーズコントロール	44
ECO モード	36	クルーズコントロール関連データエリア	44
ECO の最小値と最高値	36	不変のデータの変更	44
ECO 回転数及びトリム角	36	クルーズ関連データエリア	44
目標の色	36	クルーズナビゲーション	45
ECO ナビゲーション	37	トロールコントロールモード	45
ECO リフラッシュ	38	トロールコントロール関連データエリア	46
最小限	38	不変のデータの変更	46
ECO 目標の変更	39	トロール関連データエリア	46
目標値の変更	39	トロールナビゲーション	46
スマートトウモード	39	オートパイロット画面	47
スマートトウ	39	オートパイロット画面概要	47
スマートトウターゲット	40	オートパイロット画面ナビゲーション	47
スマートトウ概要パネル	40	縮小したオートパイロット	48
スマートトウ関連データエリア	41	警告	48
ナビゲーション	41	警告のポップアップ	48
保存	42	燃料の重大な警報	49
カスタム起動を作成	43	水深の警報	49
クルーズコントロールモード	44		

エコノミーモード

ECO モード

ECO モードでは、操船者に最高の燃費を達成するために最適なトリム位置及びエンジン回転数の情報を表示します。エンジンコントロールモジュール (ECM) 又は推進制御モジュール (PCM) は、ボート及びエンジンのセンサーから送られる情報を元に最適な燃費を算出します。

1. ページボタンを押し、スクロールバーを開きます。
2. ロータリーノブを使用し、ECO モードアイコンを探し、ロータリーノブを押します。関連データエリアには、ECO アイコンの要素及び最高の燃費を達成するための簡単な説明が表示されます。

ECO の最小値と最大値

ECO モードが作動すると、最大値と最小値の範囲が回転数の目盛り上に表示されます。この表示される範囲は、計算上の最適なものです。範囲は、設定メニューから調整可能です。



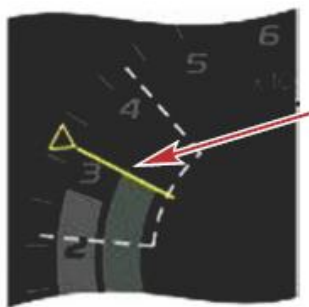
ECO 回転数及びトリム角

回転数が最小値の範囲に達すると、回転数及びトリムの目標が表れます。色付きのラインは目標値であり、目標値を達成した際に色を変えてお客様に知らせます。

目標の色

三角形色のルール				
状態	色	形式	動き	イメージ
目標に達していない	黄色	外枠	点滅	
目標に達している	緑色	塗り潰し	点灯	

下図は、ECO 回転数の異なる状態を示します。



達している



達していない

関連データエリアには、トリム角が表示されます。



全てが目標値に達すると、関連データエリアには、説明に変わり現在の燃費が表示されます。



ECO ナビゲーション

関連データエリアには、リフレッシュ、最小限、×が表示されます。

- ・ 最小限は、システムトレイに ECO 説明を隠し、ECO モードを表示します。最小限矢印は、関連データエリアに他の情報を表示させます。
- ・ リフレッシュは、ECO 値をリセットし、新しいパラメーターを使用し回転数とトリムの目標値を決定します。
- ・ ×は、ECO モードプログラムを終了し、関連データエリアから回転数とトリム目標値を削除します。
- ・ 機能しているエリアは、白色ベースで示されます。



①-リフレッシュ ②-最小限 ③-終了

ECO リフレッシュ

リフレッシュは、現在の ECO が使用している回転数及びトリム目標を再計算できるようにします。

1. リフレッシュ機能をハイライトし、ロータリーノブを押します。
2. 関連データエリアに説明が表示されます。



3. システムが新しい目標の計算を終了したとき、関連データエリアには値がリフレッシュされている事を示します。
4. ×をハイライトし、ロータリーノブを押すと、ECO メイン説明画面に戻ります。



5. ECO 関連データエリアには、説明及び最高の燃費を達成するための目標値の設定方法が示されます。

最小限

最小限の機能は、お客様が ECO 機能を使用しつつ、関連データエリアに追加情報を表示させるためのものです。

1. 最小限を選択すると、ECO 説明は削除され、関連データエリアに追加情報が表示されます。スクロールバーより限られたアイテムを選択することができます。
 - ・ スクロールバーは、次のように制限されています。: 拡大、燃料管理、トリップログ、電圧、ナビゲーション、圧力、温度、タンク、発電機。
注意: スクロールバーに用意されるアイテムは、ボートの設定及びセンサーによって異なります。
 - ・ ECO が作動中にスクロールバーに灰色で表示されるアイテムは、表示できなくなり選択できません。
2. 最小限が作動中、システムトレイには ECO が表示されます。
3. ECO モードに接続する場合は、タッチスクリーンで ECO をハイライトし、ロータリーノブを押します。
4. ECO が最適化を達成した場合、関連データエリアは最適化に変わります。

ECO 目標の変更

ECO のソフトウェアは、ボート運転中に最高燃費のためにエンジンセンサーをモニターします。ソフトウェアが燃費の上昇を認めた場合、ベッセルビュー7 は、その時点の回転数及びトリム角を記録します。この計算は、ECO 画面が表示、非常時に係らず行われます。ソフトウェアがトリム角及びエンジン回転数を記録した場合、お客様に最適な速度及びトリム角を矢印で案内します。ほとんどのアプリケーションでは、ECO 画面は設定を必要としません。とはいえ、お客様のボートスタイルに合わせて、ゲージをカスタマイズする設定は有ります。デフォルトの設定は、ほとんどのボート使用に当てはまる許容範囲内である。以下は、デフォルトの設定です。

ECO 目標設定のデフォルト	
燃費の安定性	0.7 秒
回転数の安定性	0.7 秒
回転数ウインドウ下限	2000rpm
回転数ウインドウ上限	4000rpm
目標回転数近似値	10%
目標トリム角近似値	3%

重要： マイクロ SD カードにより、ベッセルパーソナリティーがアップロードされていない場合は、マニュアルトリム設定を ECO 画面使用前に行います。デフォルトトリム設定を使用すると、ECO 画面が正常に機能しません。

目標値の変更

1. スクロールバーを開きます。
2. ロータリーノブを使用し、最後の設定アイコンをハイライトし、ロータリーノブを押します。
3. ネットワークに進み、ロータリーノブを押します。
4. ECO モードをハイライトし、ロータリーノブを押します。
5. 変更したい目標値をハイライトします。
6. 目標値を変更し、ロータリーノブを押します。
7. 目標から出るまで、この操作を続けます。

注意： 設定メニューは、目標を終了した後閉じられます。他の目標値を変更する場合は、スクロールバーを開きます。設定アイコンがハイライト表示されます。他の目標値を変更するためには、既に概略を説明した手順に従います。

スマートトウモード

スマートトウ

スマートトウは、ボートに GPS が装備され、CAN に接続されていない限り、エンジン回転数に基づいています。ボートに GPS が装備されている場合は、スマートトウオプションのスピード及びエンジン回転数の目標値を選択する事ができます。尚且つカスタム起動プロファイルを作成する事ができます。




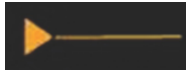
スマートウターゲット

スマートトウは、関連データエリアの回転数の一部として、行き過ぎた位置を設定できます。回転数の目標値は、オレンジ色で表示され、行き過ぎた位置は白色で表示されます。



①-回転数目標値 ②-行き過ぎた位置

回転数の目標値は、起動していない場合は外枠、起動している場合は塗り潰しとなります。

回転数目標値			
状態	色	形式	イメージ
目標値	オレンジ	外枠	
起動	オレンジ	塗り潰し	

スマートトウが起動していない場合、回転数の表示は白色が起動中はオレンジ色になります。



起動中のオレンジ色表示

スマートトウ概要パネル

スマートトウは、最初にスマートトウを起動する前に概要パネルが表示されます。この画面は、短時間表示された状態になります。概要パネルは、スマートトウ画面の使用方法を説明します。この画面からスマートトウ機能の中からヘルプ、続ける、終了の各機能を表示、非表示することができます。

- ・ ヘルプ非表示を選択した場合、ヘルプ画面が次回起動時に表示されず、スマートトウデフォルト関連画面が起動されます。
- ・ 続けるがデフォルトスマートトウ関連画面に起動されると共に、概要ページが次回スマートトウを起動した際に表示されます。



- ・ ×は、スマートトウオプションを終了します。

スマートウ関連データエリア

スマートウデフォルト関連データ画面では、スマートウ機能の設定、変更ができます。スマートウが起動中に点線、グラフを起動すると、アニメーション化されます。システムは、発進経路のどの位置にあるかを、点が移動して示します。



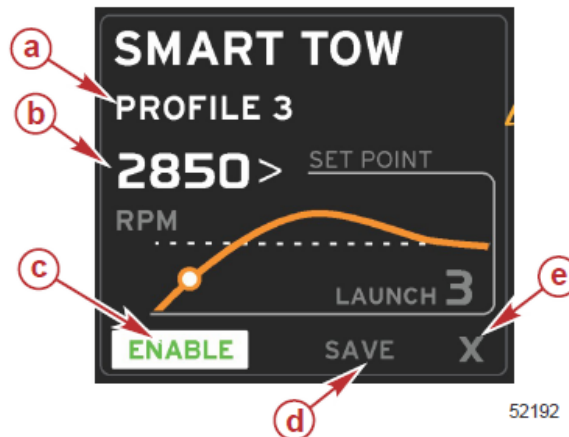
アニメーション化された発進経路の点

ナビゲーション

スマートウは、設定を調整するために、関連データエリア及びフッターセクションを利用します。押す又は軽く叩いてセレクションボックスフィールドを移動します。フッターセクションでは、スマートウの起動、停止、保存、終了が行えます。

セレクションフィールドは、5個あります。ロータリーノブ又は軽く叩いて、回転数/スピード設定、起動、停止、をプロフィール選択からスクロールし選択します。

- ・ フッターナビゲーションにあるアイテムの選択は、ロータリーノブを押します。



①-プロフィール選択 ②-設定値 ③-起動 ④-保存 ⑤-終了

プロフィール選択では、工場にて予め設定された 5 種類のプロフィールに加え、独自に設定したプロフィールから選択できます。独自に設定した物は、修正できると共に最新セッティングにデフォルトでなります。



工場設定プロフィール

設定値は、操船者が回転数又はスピードを調整する事ができます。操船者がデフォルト値を超えるためにクイックセーブオプションを使用するまで、10mph又は 1700 回転がデフォルト値となります。

- ・ スマートトウ起動中は、設定値がデフォルトです。操船者は、関連データエリア画面を押すことによって、回転数及びスピードを調整する事ができます。



①—設定値デフォルトの選択

希望の設定に調整した後、関連データエリアのフッターにある選択を押します。

- ・ 起動又は無効は、機能を ON 又は OFF します。固定なデータ回転数スweepは、機能していない白スweepとして表示されます。
 - a. 起動(ON)中は緑色表示。
 - b. 無効(OFF)中は赤色表示。



①—無効—赤色 ②—mph モード選択時の回転数スweep表示

- ・ 保存を押す。保存は、操船者がクイックセーブ、新しく保存、カスタムを作成、選択できるように画面を変更します。
- ・ 操船者が X を押した場合、スマートトウは無効になり、関連データエリア及び固定データは、デフォルト画面に戻ります。

保存

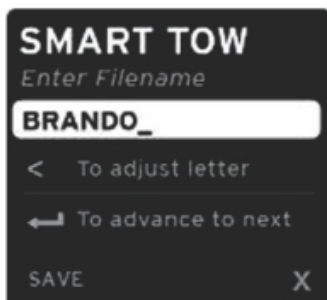
保存を選択した場合、関連データエリアは保存オプションに移行します。クイックセーブは、デフォルトオプションです。

- ・ 選択して押し、決定します。



①—クイックセーブ ②—新しく保存 ③—カスタムを作成

- ・ **クイックセーブ**は、新しい回転数及びスピードをプロフィールに保存します。押すとデータを保存し、スマートトウ関連画面に戻ります。
- ・ **新しく保存**は、現在の設定及びカスタム名を保存します。移行を押すと、カスタムファイル名へ移行します。ファイル名の選択は、デフォルトで起動しています。
 - a. 画面又はロータリーノブを使用し、語句を変更します。



- b. ロータリーノブを使用し、保存をハイライトさせノブを押して決定します。

注意： 終了するには、X を選択しロータリーノブを押します。新しいデータを保存せずにメイン画面に移行します。

カスタム起動を作成

カスタム起動を作成は、カスタム起動プロフィールの作成ができます。回転数の設定値、スピード、スロープ、超過、超過期間の調整ができます。このオプションを選択すると、関連データエリアはカスタムプロフィール設定画面に移行します。



- ・ ロータリーノブを使用し、調整が必要な領域に選択ボックスを移動します。選択した項目の値を調整するために、画面上の記号を使用します。
- ・ カスタムプロフィールが完成した後、次へ又は X をハイライトします。
 - a. 次へ、を選択すると、関連データエリアは新しい起動プロフィールのカスタム名を作成するために、新しく保存へ移行します。
 - b. 終了を選択すると、カスタムプロフィール設定は保存されず、メインスマートトウ画面へ移行します。

クルーズコントロールモード

クルーズコントロール

クルーズ機能は、ボートが特定のエンジン回転数やスピードを維持するために、設定値を選択、調整できるようにします。

- ・ クルーズは、ボートの CAN にマーキュリーマリン GPS が組み込まれていない限り回転数がベースとなります。
- ・ ボートにマーキュリーマリン GPS が組み込まれている場合は、デフォルト設定はボートのスピードになります。
- ・ 操船者は、回転数設定値又はスピード設定値を選択できます。クルーズオプションタイプの選択は、設定メニューから変更できます。
- ・ スクロールバーを開き、クルーズアイコンをハイライトします。スクロールバーアイコンを参照し、クルーズアイコンを特定します。

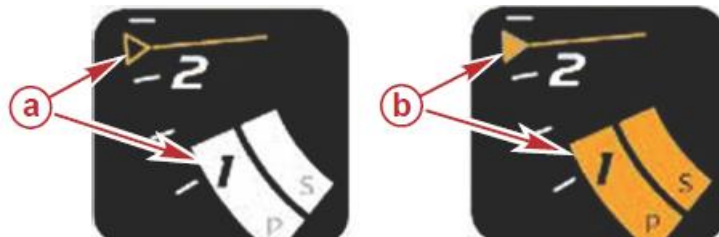
注意：クルーズコントロールはリモートコントロールレバーをニュートラルにすると解除されます。

クルーズコントロール関連データエリア

固定データの変更

クルーズは、スマートトゥ及び ECO モードターゲットに似た回転数スィープ内の回転数インジケータを組込む事により永続的データ領域を変更します。

- ・ クルーズモードが起動している場合、固定データの要素が通信するように変更されます。
 - ・ 回転数設定ポイント
 - ・ 回転数スィープの色が起動時にエンジンがコンピューター制御されていることを示すためにオレンジ色に変わります。

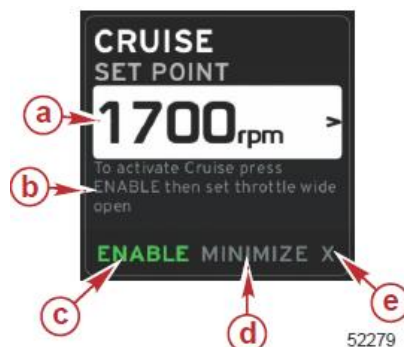


①—クルーズ停止 ②—クルーズ起動中

クルーズ—関連データエリア

クルーズが起動中は、関連データエリアの画面が変更されます。

- ・ 関連データエリアの要素は、ユーザーがセットアップできるように変更します。
 - a. 回転数設定位置
 - b. クルーズの状態が、有効又は無効。



①—設定値 ②—説明 ③—有効 ④—縮小 ⑤—終了

クルーズナビゲーション

クルーズモードは、スマートウに似た修正されたナビゲーションシステムを持ちます。関連パネルのフッター部分では、操船者がクルーズを有効、無効、終了、縮小等の操作を行う事ができます。フッターナビゲーションは、他の機能と同様に基本的なナビゲーション選択方法に従います。

1. フッターでの選択は、ロータリーノブを使用する又は軽く叩いてスクロールします。
2. ロータリーノブを押し、選択を有効にします。
 - a. 有効又は無効、要素の機能を ON 又は OFF
 - b. 縮小は、クルーズデータを隠し、クルーズをシステムトレイに表示します。これによって操船者は、選択されたアイコンから他の情報を表示できます。
3. セットポイント調整選択領域は、クルーズ起動時のデフォルトアイコンになります。必要な設定に調整を行った後、関連データエリアにあるフッター領域において、ロータリーノブを使用しカーソルを移動して、有効、無効を選択します。
 - a. ロータリーノブを使用し、セットポイントの選択及びフッターの間を移動します。
 - b. 選択ボックスがフッターナビゲーションエリアの外にある場合(セットポイント領域)、操船者はロータリーノブを使用し、回転数又はスピードの調整をするだけです。新しい設定のためにロータリーノブを押す必要はありません。
4. 縮小は、関連データエリアに追加データが表示されている際に、クルーズ機能を使用できるようにする機能です。

重要：クルーズが縮小中は、セットポイントの調整はできません。

 - a. スクロールバーアイコンの選択は、制限されます。クルーズが起動中は、アイテムは灰色になり、アクセスできません。
 - b. オートパイロットが起動中であり、クルーズが縮小中は、システムトレイにクルーズが表示されます。
 - ・ システムトレイを選択した場合、オートパイロット設定の上にクルーズデータが表示されます。
 - ・ オートパイロットの警告が表示された場合、及びオートパイロット CAN トラックパッドを使用した場合、関連データエリアに自動的にオートパイロット関連データが表示されます。ポップアップデータを隠すために、縮小する必要があります。
5. 縮小が機能すると、システムトレイにクルーズが表示されます。
6. クルーズエレメント表示中に終了を選択すると、クルーズの機能が無効になります。スクロールバーより他のアイコンを選択した場合、システムトレイの次にクルーズアイコンが表示されます。

トロールコントロールモード

トロール機能は、操船者がセットポイントを選択し、ボートが特定の速度や回転数を維持するように値を調整する事ができるようにします。

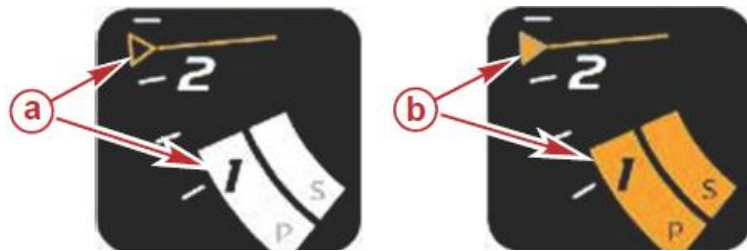
- ・ トロールは、回転数がベースです。
 - ・ スクロールバーを開き、トロールアイコンをハイライトします。ロータリーノブを押し、トロールコントロールを起動します。スクロールバーアイコンを参照し、トロールアイコンを特定します。
- 注意：トロールコントロールは、リモートコントロールレバーがニュートラル位置にあるとき表示されます。

トロールコントロール関連データエリア

固定データの変更

トロールは、スマートトゥ及び ECO モードターゲットに似て、回転スweep内の回転数インジケータを組込み、画面の固定データ領域を変更します。

- ・ トロールコントロールモードが起動中、固定データの要素が通信できるように変更します。
- ・ 回転数セットポイント。
- ・ エンジンがコンピューター制御されていることを示すため、回転数スweepの色がオレンジ色に変わります。

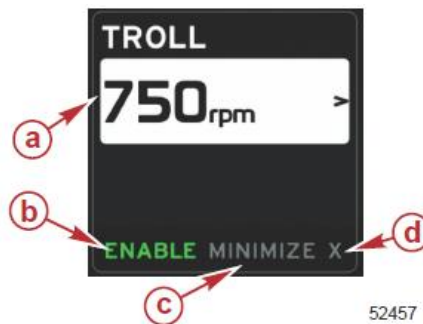


①—無効 ②—有効

トロール—関連データエリア

トロールが起動中は、画面の関連データエリアが変更されます。

- ・ 関連データエリア内の要素は、ユーザーがセットアップできるように変更されます。
 - a. 回転数セットポイント。
 - b. トロールステータスが有効又は無効。



①—設定値 ②—有効又は無効 ③—縮小 ④—終了

トロールナビゲーション

トロールモードは、スマートトゥに似た変更されたナビゲーションシステムを持ちます。関連パネルのフッター部分では、操船者がトロールを有効、無効、終了、縮小等の操作を行う事ができます。フッターナビゲーションは、他の機能と同様に基本的なナビゲーション選択方法に従います。

1. フッターの選択を押します。
2. ロータリーノブを押し、選択を有効にします。
 - a. 要素の機能を、有効又は無効にします。
 - b. 縮小は、トロールデータを隠し、トロールをシステムトレイに表示します。これによって操船者は、選択されたアイコンから他の情報を表示できます。
3. セットポイント調整選択領域は、トロール起動時のデフォルトアイコンになります。必要な設定に調整を行った後、関連データエリアにあるフッター領域において、ロータリーノブを使用しカーソルを移動して、有効、無効を選択します。
 - a. タッチスクリーンを使用し、セットポイントの選択及びフッターの間を移動します。

- b. 選択ボックスがフッターナビゲーションエリアの外にある場合(セットポイント領域)、操船者はロータリーノブを使用し、回転数又はスピードの調整をするだけです。新しい設定のためにロータリーノブを押す必要はありません。
4. 縮小は、関連データエリアに追加データが表示されている際に、トロール機能を使用できるようにする機能です。
- 重要：トロールが縮小中は、セットポイントの調整はできません。**
- a. スクロールバーアイコンの選択は、制限されます。トロールが起動中は、アイテムは灰色になり、アクセスできません。
 - b. オートパイロットが起動中であり、トロールが縮小中は、システムトレイにトロールが表示されます。
 - ・ システムトレイを選択した場合、オートパイロット設定の上にトロールデータが表示されます。
 - ・ オートパイロットの警告が表示された場合、及びオートパイロット CAN トラックパッドを使用した場合、関連データエリアに自動的にオートパイロット関連データが表示されます。ポップアップデータを隠すために、縮小する必要があります。
5. 縮小が機能すると、システムトレイにトロールが表示されます。
6. トロールエレメント表示中に終了を選択すると、トロールの機能が無効になります。スクロールバーより他のアイコンを選択した場合、システムトレイの次にトロールアイコンが表示されます。

オートパイロット画面

オートパイロット画面概要

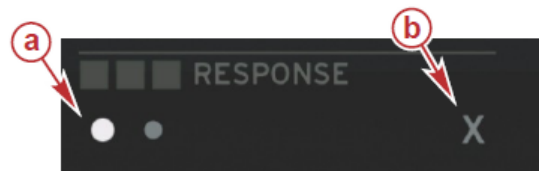
ベッセルビュー7 は、オートパイロット機能及びジョイスティック操作の表示拡張機能です。これら操舵の機能は、マーキュリーマリン CAN パッドによって制御されます。ベッセルビュー7 は、モードが起動又はスタンバイした場合に表示されます。ボートが目的地に到達した際にポップアップが表示され旋回を促します。また最大効率を達成するためにエンジン及びドライブをどのように調整すべき情報を表示します。

- ・ オートパイロット CAN トラックパッドのいずれかのボタンを押すと、オートパイロット画面がベッセルビュー7 のデフォルト画面になります。
- ・ この機能が ON になっている場合、オートパイロットが表示されます。全てのモード及び機能が CAN パッドによって制御されます。

オートパイロット画面ナビゲーション

オートパイロット画面は、変更されたナビゲーションシステムとなります。情報は、関連エリアの 2 ページに表示されます。ページインジケータ及び X のみ選択できます。

- ・ ページ 1 オートパイロット情報が含まれます。
- ・ ページ 2 追加のナビゲーションデータが含まれます。
- ・ オートパイロットデータを隠し、システムトレイのアイコンでオートパイロットモードを表示するためには、X を使用します。これは、関連エリアに他の情報を表示することができるようにします。



①—ページ ②—縮小したオートパイロットデータ

縮小したオートパイロット

X が関連データナビゲーションから選択された場合、オートパイロットデータは削除されます。関連データエリアのスクロールバーより、限られたアイテムを表示する事ができます。最後の関連データがデフォルトとして表示されます。

- ・ スクロールバーの選択には制限があります。： 拡大、ECO、フューエルマネジメント、トリップログ、電圧、ナビゲーション、圧力、温度、タンク、クルーズ、発電機、設定。
注意： スクロールバーアイテムは、ベッセルパーソナリティ及びゲージに基づいています。
- ・ ECO が起動中で、オートパイロットが縮小されている場合、システムトレイはシステムトレイアイコンにオートを表示します。
- ・ オートパイロットが起動中、スクロールバーにある灰色のアイコンは選択する事ができません。
- ・ オートパイロットのポップアップは表示された場合、又はオートパイロット CAN パッドのボタンを押した場合、オートパイロットデータは、自動的に関連データエリアに保存されます。データを隠す場合は、X を選択しなければなりません。
- ・ システムトレイは、オートパイロットがどのモードにあるかを表示します。： トラック、オート、ウェイポイント又はスタンバイ： ウェイポイントは、システムトレイにオレンジ色で表示されます。他のモードは、灰色で表示されます。

警告

ポップアップ警告

全てのマーキュリー警告アラームは、表示されている画面に係らず警告を表示します。警告アラームが起動した場合、ステータスボックスは警告テキストアイコンを表示します。フォルト、記述の短いテキスト、長いテキスト、アクションテキストは、全画面で表示されます。

- ・ フォルトが発生した場合：
 - a. ステータスボックスが赤色に変わり、警告テキスト及びアイコンを表示します。



- b. 燃料及び水深の警告フォルトは、付属のオプション及び燃料の重大な警報及び水深の警報として記述されます。
 - c. レベル 3 ポップアップ警告(トリム、ナビゲーション、ECO、フューエル)は、設定メニューから ON/OFF ができます。デフォルトは ON になっています。ポップアップ警告を設定メニューから OFF にした場合、フォルトはシステムトレイにのみ表示されます。
 - d. 全てのガーディアンフォルト(レベル 4)は、設定メニューの選択に係らず常に表示されます。
 - e. フォルトが排気ガスコントロールに関係する場合は、エンジンアイコンがステータスボックスに表示されません。
- ・ 操船者が関連エリアからフォルトを選択した場合：
 - a. フォルトタイトルが警告アイコンと共に、上に表示されます。
 - b. フォルトの短いテキスト記述及びフォルトの場所(エンジン)は、タイトルの下に表示されます。
 - c. 1 個以上のフォルトがある場合は、ロータリーノブを使用し、各フォルトを選択し、ノブを押してフォルトにアクセスします。エンジンフォルトを参照します。



- ①ーフォルトアイコン及びタイトル ②ー短いテキスト又は受継いだテキスト
 ③ーエンジンフォルトアイコン ④ーアクションテキスト ⑤ーフォルトの数

燃料の重大な警報

燃料の警報は、ECM/PCMではなく、ベッセルビュー7で管理されています。

- ・ 表示通知の特性及び燃料警告レベルは、設定メニューよりセットできます。
- ・ 燃料の選択においてロケーション#2(画面表示の位置及び詳細を参照)の固定データ領域を選択している場合、燃料データ領域には警告が表示されます。
- ・ 警告アイコンは、燃料アイコンに変更され、データボックスの色は赤と黒に変化します。



- ・ 固定データ領域(ロケーション#2)において燃料を選択していない場合、警告フォルトが発生した場合、システムトレイは赤色となり、燃料を表示します。
- ・ 設定メニューより、関連ポップアップから燃料警告を選択し、設定できます。ロータリーノブを押すと、関連パネルを最小限にする事ができます。フォルトは、画面の設定によって、2つの場所の内いずれかに表示されます。

水深の警報

水深の警報は、ECM/PCMではなく、ベッセルビュー7で管理されています。

- ・ 表示通知の特性及び水深警告レベルは、設定メニューよりセットできます。
- ・ 水深の選択においてロケーション#1(画面表示の位置及び詳細を参照)の固定データ領域を選択している場合、水深データ領域には警告が表示されます。
- ・ 警告アイコンは、水深アイコンに変更され、データボックスの色は赤と黒に変化します。



- ・ 固定データ領域(ロケーション#1)において水深を選択していない場合、警告フォルトが発生した場合、システムトレイは赤色となり、水深を表示します。
- ・ 設定メニューより、関連ポップアップから水深警告を選択し、設定できます。ロータリーノブを押すと、関連パネルを最小限にする事ができます。フォルトは、画面の設定によって、2つの場所の内いずれかに表示されます。

項目 6 – 取付け

目次

取付けガイドライン.....	51	ベッセルビュー7 の取付け.....	51
取付け位置.....	51	ベッセルビュー7 配線.....	52
電磁気の影響.....	51	ベッセルビュー7NMEA2K 接続.....	52

取付け位置

取付け位置は、穴をあける前に慎重に選ばなければなりません。ベッセルビュー7 は操船者から見やすく操作しやすい場所に取付けなければなりません。表示画面は、直射日光の下でも見やすいように、高コントラスト及び反射防止特性を備えています。最良の場所は、直射日光や反射を受ける物から離れた場所を選びます。

取付け面の裏側に配線等が無いことを確認します。

水没する恐れのある場所、操作の邪魔になる場所、掴まる恐れのある場所に設置しないでください。

関連する配線を取付けるためのスペースが確保されていることを確認します。

取付け位置を考慮する際は、換気にも注意します。換気が不十分な場合、オーバーヒートの恐れがあります。この製品は、-15 から +55°C の範囲で使用するように設計されています。

電磁気の影響

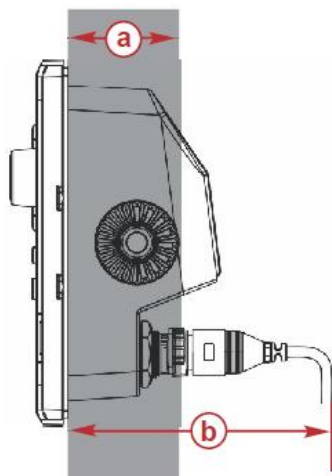
下記は、取付け位置を決める際に考慮しなければならない最低限の距離です。ベッセルビュー7 は下記の距離よりも近づけて取付けないようにします。

- ・ 1.5m-ラジオ、送信アンテナ
- ・ 2m-レーダーアンテナ
- ・ 1m-コンパス

ベッセルビュー77 の取付け

以下の取付け説明は、ベッセルビュー7 に付属する配線に関して書かれています。90° ハーネスコネクタは、ダッシュボードの厚さが記載されている寸法より大きい場合は、ベッセルビュー7 を取付けることができません。ダッシュボードの厚さが記載されている寸法を超える場合は、ストレートコネクタ部品番号 8M0075080 を注文します。

1. ベッセルビュー7 ハーネスコネクタに十分なクリアランスがあります。

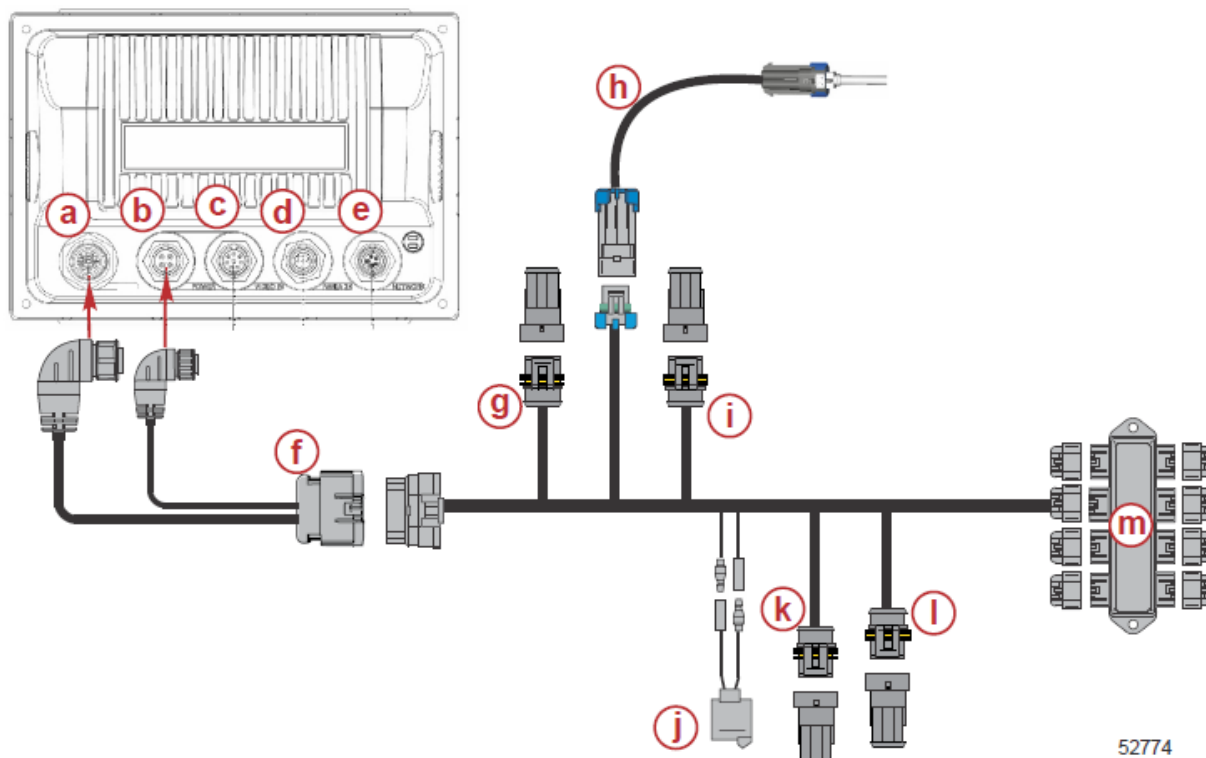


①-ダッシュボード 5.08cm

②-12.0cm

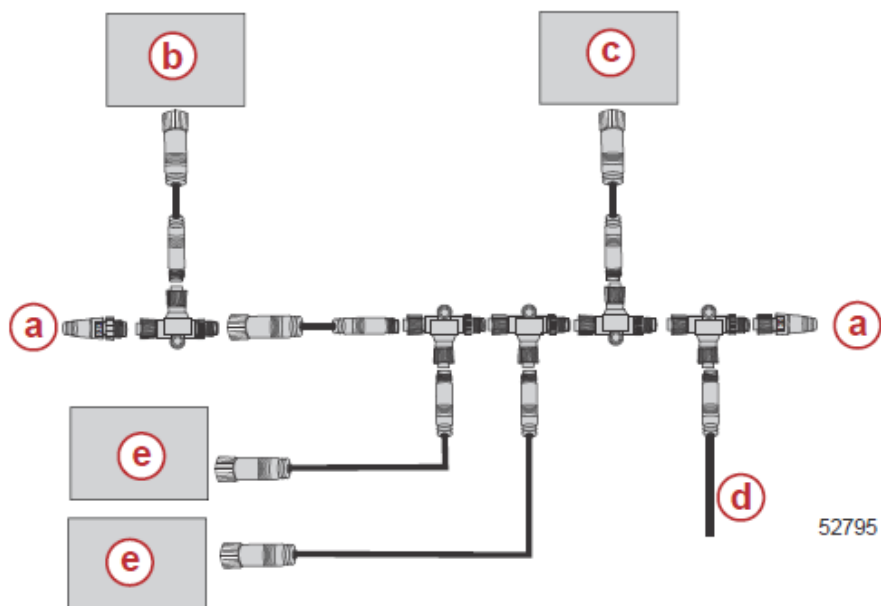
2. 取付け面に取付け穴テンプレートをテープで貼り付けます。
3. 適切なドリルで 4 箇所の取付け穴をあけます。
4. 25mm のホルソーを使用し、4 箇所の角の部分に穴をあけます。
5. 灰色の部分を切取ります。
6. 鑿で鋭利な角の部分を削ります。
7. ベッセルビュー7 が取付け穴に入ることを確認します。開口部に取付けに邪魔な物があれば取除きます。
8. ベッセルビュー7 取付け部にガスケットを貼り付けます。
9. 開口部に納める前に、全ての配線を取付けます。
10. 取付け付属品で固定します。
11. 上下のベゼルを取付けます。

ベッセルビュー7 配線



- ①-スマートクラフトネットワーク接続 ②-電源 ③-ビデオ入力 ④-SIMNET/NMEA2000
 ⑤-イーサネットネットワーク ⑥-ベッセルビュー77 アダプターハーネス ⑦-システムリンクポート
 ⑧-空気温度センサー ⑨-右舷システムリンク ⑩-ホーン ⑪-右舷中央システムリンク
 ⑫-左舷中央システムリンク ⑬-ジャンクションボックス

ベッセルビュー7NMEA2K 接続



- ①-120K オームターミネーションレジスタ ②-GPS ③-チャートプロッター
 ④-NMEA2K ヒューズ付電源 ⑤-ベッセルビュー7

